

4. 工事関係提出書類一覧表

昭和 49 年 3 月 30 日

和歌山県訓令第16号

SECRET - INFORMATION REPORT

SECRET - INFORMATION REPORT

SECRET - INFORMATION REPORT

工事関係提出書類一覧表

No.	様式名	作成者	宛先	提出期限	備考	大きさ	頁		
1	工程表	請負者	契約書の甲	契約後 5 日以内	S49.3.30 和歌山県訓令第 16 号 別記第 5 号様式	A4	4-2		
2	下請負(委任)通知書	請負者	契約書の甲	下請負の通知を求められた時	別記第 7 号様式	A4	4-3		
3	現場代理人等通知書	請負者	契約書の甲	契約締結後速やかに	別記第 8 号様式	A4	4-4		
	経歴書	請負者	契約書の甲	契約締結後速やかに	(第 8 号様式)別紙	A4	4-5		
4	現場代理人等変更通知書	請負者	契約書の甲	変更の時	別記第 9 号様式	A4	4-6		
5	工期延長請求書	請負者	契約書の甲	工期延長を必要とする時	別記第 10 号様式	A4	4-7		
6	損害発生通知書	請負者	契約書の甲	損害発生後速やかに	別記第 11 号様式	A4	4-8		
7	完成通知書	請負者	契約書の甲	工事完成の日	別記第 12 号様式	A4	4-9		
8	引渡書	請負者	契約書の甲	引渡の時	別記第 13 号様式	A4	4-10		
9	請負代金請求書	請負者	契約書の甲	請求しようとする時	別記第 14 号様式	A4	4-11		
10	前払金請求書	請負者	契約書の甲	請求しようとする時	別記第 15 号様式	A4	4-12		
11	既済部分検査請求書	請負者	契約書の甲	希望月日の 15 日前	別記第 16 号様式	A4	4-13		
12	指定部分完成通知書	請負者	契約書の甲	部分完成の日	別記第 17 号様式	A4	4-14		
13	指定部分引渡書	請負者	契約書の甲	引渡の時	別記第 18 号様式	A4	4-15		
14	事故発生報告書		現業代理人	建端張等	事故発生後速やかに	別紙 様式第 1 号	A3	4-16	
	事故報告書	請負業者用					重機事故用	A3	4-17
							墜落事故用	A3	4-25
							交通事故用	A3	4-33
							一般事故用	A3	4-41
							記入コード表	-	4-49
発注者用	-	A3	4-57						
同上コード表	-	-	-	-	4-61				
15	工事打合簿	現業代理人・監督員		打合の都度	別紙 様式第 2 号	A4	4-74		
16	材料確認願	現業代理人 監督員		確認を受けようとする時	別紙 様式第 3 号	A4	4-75		
17	段階確認書	現業代理人 監督員		事前に	別紙 様式第 4 号	A4	4-76		
18	立会願	現業代理人 監督員		事前に	別紙 様式第 5 号	A4	4-77		
19	現場発生品調書	現業代理人 監督員		発生品引渡の時	別紙 様式第 6 号	A4	4-78		
20	工事材料承諾願	現業代理人 監督員		使用前に	別紙 様式第 7 号	A4	4-79		
21	施工計画書	現業代理人 監督員		契約後 15 日以内					
	再生資源利用計画書	現業代理人 監督員		契約後 15 日以内		A3	4-80		
	再生資源利用促進計画書	現業代理人 監督員		契約後 15 日以内		A3	4-81		
	再生資源利用促進実施書	現業代理人 監督員		必要の都度及び工事完成時					
	- 工事カルテ受領書写	現業代理人 監督員		契約後・変更後・完成後の 10 日以内					
	- 変更工程表	現業代理人 監督員		工期変更協議開始日					
	- 材料品質証明資料	現業代理人 監督員		必要の都度及び工事完成時					
	- 工事記録写真	現業代理人 監督員		必要の都度及び工事完成時					
	- 出来型管理関係図書	現業代理人 監督員		必要の都度及び工事完成時					
	- 品質管理関係図書	現業代理人 監督員		必要の都度及び工事完成時					
22	工事日誌	現業代理人 監督員		必要の都度及び工事完成時		A3 A4	4-82		
-	建退共掛金収納書	請負者 契約書の甲		契約締結後 1 カ月以内及び完成時					
23	施工体制台帳	請負者 監督員		工事着手まで		A4	4-83		
-	その他必要書類								

- 注) 1. 施工計画書等を提出する際には、「工事打合簿」を表紙とする。
 2. No.1~No.13 は昭和 49 年 3 月 30 日和歌山県訓令第 16 号「和歌山県建設工事事務規程」の別記様式とする。
 3. No.14~No.20 は別紙 様式第 1 号~第 7 号とする。

別記第5号様式(第8条関係)

和歌山県女子学 様

請負人 住所
氏名

工事 工 程 表

工 事 番 号	工 程 種 類	延長 数量	単 位	歩 合	月		月		月		月		請負人 監督員	備考
					10	20	10	20	10	20	10	20		
				8									工 期	年 月 日から 年 月 日まで
				6										
				4										
				2										
				8										
				6										
				4										
				2										
				8										
				6										
				4										
				2										
				8										
				6										
				4										
				2										
				8										
				6										
				4										
				2										
				8										
				6										
				4										
				2										
				8										
				6										
				4										
				2										

【注】工事内容に依じ、ネットワーク式とする

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

印

下請負(委任)通知書

年 月

日付けで建設工事請負契約を締結した下記工事について、工

事の

全部 主たる部分 一部の工作物の工事	}	を下記により、	{	請け負わせる	} ので建設工事請負契約書第7条
				委任する	

の規程により通知します。

記

1. 工事年度番号及び工事番号 年度 第 号
2. 工事名
3. 下請負等に付する部分の概要及び予定工事量
4. 下請負人等の住所、商号又は名称、資格
5. 現場担当責任者の氏名
6. 下請負等に付する理由

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

㊞

現場代理人等通知書

工事年度及び工事番号 年度 第 号

工 事 名

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した上記工事の現場代理人及び技術者を下記のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて建設工事請負契約書第 10 条第 1 項の規定により通知します。

記

区 分	氏 名
現場代理人	
[]主任技術者	
[]監理技術者	
専門技術者	

備考

- 1 該当する技術者以外については、抹消すること。
- 2 建設業法第 26 条第 2 項に該当する場合は、主任技術者でなく監理技術者とする。
- 3 特定工事を自ら施工するときは、専門技術者を選任すること。
- 4 []の部分には、建設業法第 26 条第 3 項の工事の場合に「専任」の字句を記入する。
ただし、当該工事が同法第 26 条第 4 項の工事にも該当する場合には、[]の部分に「監理技術者資格者証の交付を受けた専任の」の字句を記入する。

経歴書()

住所
氏名
生年月日 年 月 日

学歴
1. 年 月(最終学歴)

資格
1. 年 月

職歴
1. 年 月
2. 年 月
3. 年 月

工事経歴
1. 年 月
2. 年 月
3. 年 月

備考

1. 表題の()には、現場代理人等該当するものの名称を記載する。
2. 最終学歴は、専攻科目まで記載する。
3. 資格は、法令による資格免許等の名称、等級、種別、登録(合格)番号を記載する。
4. 工事経歴は、工事名及び現場代理人等の任務を記載する。
5. 監理技術者資格者証の交付を受けた専任の監理技術者は、監理技術者資格者証の写しを添付すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名



現場代理人等変更通知書

工事年度及び工事番号 年度 第 号

工事名

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した上記工事の

現場代理人 <input type="checkbox"/> 主任技術者 <input type="checkbox"/> 監理技術者 <input type="checkbox"/> 専門技術者	を下記のとおり変更したので、別紙経歴書を添えて建設工事請負契約書
---	----------------------------------

第 10 条第 1 項の規定により通知します。

記

1. 新任者
2. 旧任者
3. 理由

備考

1. 該当する事項以外については、抹消すること。
2. 別記第 8 号様式の別紙による経歴書を添付すること。
3. []の字句の記入については、別記第 8 号様式の備考 4 によること。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名



工期延長請求書

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した下記の工事について、建設工事請負契約書第 21 条の規定により、下記のとおり工期の延長を請求します。

記

- 1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号
- 2. 工事名
- 3. 請負代金額 ¥ _____
- 4. 工期 年 月 日から
年 月 日まで
- 5. 延長日数年月日 日間
年 月 日
- 6. 理由 別紙のとおり

備考

別紙理由は、具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること。

別記第 11 号様式(第 8 条関係)

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名



損害発生通知書

- 1. 工事年度及び工事番号 _____ 年度 _____ 第 _____ 号
- 2. 工事名 _____
- 3. 請負代金額 _____ ¥ _____
- 4. 工期 _____ 年 _____ 月 _____ 日から
_____ 年 _____ 月 _____ 日まで

上記工事について、下記のとおり損害を生じたので、建設工事請負契約書第 29 条第 1 項の規定により通知します。

記

- 1. 損害発生前及び損害の概要
- 2. 損害の内訳数量
- 3. 損害発生状況を示す現場写真

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名



完成通知書

下記工事は、 年 月 日に完成したので建設工事請負契約書第 31 条第 1 項の規定により通知します。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号
2. 工事名
3. 請負代金額 ￥ _____
4. 契約年月日 年 月 日
5. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

別記第 13 号様式(第 8 条関係)

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名



引渡書

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 請負代金額 ￥ _____

4. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

上記工事は、 年 月 日工事完成検査に合格したので工事目的物を引き渡します。

請負代金請求書

請求金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円

口座振替		預金種別	
指定銀行	店	預金名義人	

下記工事請負代金として、上記金額を上記銀行の預金口座に口座振替の方法で支払いされたく請求します。

年 月 日

住 所

氏 名

Ⓜ

(支払決定権者)

様

契約概要	工事年度及び工事番号	年度 第 号
	工 事 場 所	市 町 地内 郡 村
	工 事 名	工 事
	請 負 代 金 額	円
既受領額 明細	前 払 金	円
	前回までの部分払	円
	同上出来高率	%

注意

番号、年度、金額及び年月日はアラビア数字で明瞭に記入し、請負金額の前には、¥ の記号を付すること。

別記第 15 号様式(第 8 条関係)

前払金請求書

請求金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円

口座振替指定銀行 銀行 店

下記工事請負代金の前払金として上記銀行の私名義の別口普通預金口座に口座振替の方法で支払いされたく請求します。

年 月 日

住 所 _____

氏 名 _____ ㊞

(支払決定権者)

_____ 様

契 約 概 要	工事年度及び工事番号	年度 第 号
	工 事 場 所	市 町 地内 郡 村
	工 事 名	工 事
	請 負 代 金 額	円
	契約により定めた前払限度額	円

注意

番号、年度、金額及び年月日はアラビア数字で明瞭に記入し、請負金額の前には、¥ の記号を付すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名



既済部分検査請求書

下記工事の既済部分(第 回)検査を請求します。

記

- 1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号
- 2. 工事名
- 3. 請負代金額 ¥ _____
(出来高予定額)
年度 ¥ _____
年度 ¥ _____
- 4. 契約年月日 年 月 日
- 5. 工期 年 月 日から
年 月 日まで
- 6. 検査希望年月日 年 月 日
- 7. 検査実施場所

備考

債務負担行為に係る工事の場合は、出来高予定額を記載すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

㊞

指定部分完成通知書

下記工事の指定部分は、 年 月 日に完成したので通知します。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

4. 請負代金額 ¥ _____

(出来高予定額)

年度 ¥ _____
年度 ¥ _____

5. 指定部分工期 年 月 日から
年 月 日まで

6. 指定部分に対する請負代金相当額 ¥ _____

備考

債務負担行為に係る工事の場合は、出来高予定額を記載すること

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

㊞

指定部分引渡書

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 工事場所

4. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

上記工事の指定部分は、 年 月 日既済部分検査に合格したので指定部分に係る工事目的物を引き渡します。

様

請負人名称

現場代理人



事故発生報告書

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

上記工事において〔別紙〕事故報告書のとおり事故が発生したので報告します。

事故当事者の情報	氏名		性別		年齢		入社日		所属部署		加害に関係した者	
	姓	名	1. 男	2. 女	() 年	() 年	() 年	() 年	1. 常務	2. 下級社員	3. 季節労働者	4. 第3者
事故原因の有無とその内容 2. 有りの場合は内容を記入	1. 無し	2. 有り										
社名・業種 外務部署の別	1. 元請	2. 下請社員 () 次	1. 元請	2. 下請社員 () 次	1. 元請	2. 下請社員 () 次	1. 元請	2. 下請社員 () 次	1. 元請	2. 下請社員 () 次	1. 元請	2. 下請社員 () 次
雇用形態 (第3者は除く)	1. 常務	2. 臨時	1. 常務	2. 臨時	1. 常務	2. 臨時	1. 常務	2. 臨時	1. 常務	2. 臨時	1. 常務	2. 臨時
給与形態 (第3者は除く)	1. 月給	2. 日給/月給	1. 月給	2. 日給/月給	1. 月給	2. 日給/月給	1. 月給	2. 日給/月給	1. 月給	2. 日給/月給	1. 月給	2. 日給/月給

左表の「建設工事の種類」のコード表

コード	工事の種類	コード	工事の種類
01	土木一式 (P.C)	17	塗装 (しめ込づ)
02	土木一式	18	鉄金
03	建築一式	19	ガラス
04	大工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	とび工	22	内装仕上げ
07	とび工 (法面)	23	機械器具
08	石	24	熱線線
09	屋根	25	電気設備
10	電気	26	空調
11	管	27	さく井
12	タイル	28	瓦葺
13	鋼筋コンクリート	29	水道
14	鋼筋コンクリート (橋脚上)	30	消防
15	鉄筋	31	清掃
16	塗装	99	その他

会社名	(90文字以内)			
	1. 元請	2. 下請 () 次	1級	2級
元請の下請け	1位	2位	3位	4位
当該会社	1位	2位	3位	4位
有資格者数	1位	2位	3位	4位
工事の種類 (10コード)	1位	2位	3位	4位
参加したその人数を多い順に上位5まで記入	1位	2位	3位	4位
上記以外の資格保有者の合計人数	1位	2位	3位	4位
合計人数	1位	2位	3位	4位
事故原因の有無とその内容 (毎5年)	1. 無し (有り/なし、その内容を記入) (60文字)			

・事故の原因となった者 (加害者、自災者、被災者) の所属する会社の、工事種別別有資格者数を多い順に上位5位まで記入する。この有資格者数、ポイント2等は「建設事業種別通知書」から引用できる。また、(財)建設業情報センターの Home Page [http://www.oaic.or.jp] からこれを検索することも可能である。

・また、事故の原因となった者の所属する会社が複数ある場合、2位目以降はこの「様式-2(2)」をコピーし上記表 (事故の原因となった者の所属する会社の欄) のみを記入し、提出する。

平成 年度 事故報告書 【請負業者用】 (3/4)

様式一-2 (3)

安全教育の実施状況	安全教育コード コード表6参照 (a)内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する。)	関係者 新規入職者・作業変更者 作業員 その他	a 内容 (複数回答可) () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 []	b 教材 (複数回答可) () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 []	c 実施頻度 () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 []
	内容 (250文字)	関係者 新規入職者・作業変更者 作業員 その他	a 内容 (複数回答可) () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 []	b 教材 (複数回答可) () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 []	c 実施頻度 () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 [] () (X) その他 []
安全管理の実施状況	安全対策コード (最も重点をおいた項目上位3つをコード番号から記入する。)	現場全体	ソフト面：() (X) その他 [] ハード面：() (X) その他 []	(33文字) (33文字)	
	内容 (160文字)	現場全体	ソフト面：() (X) その他 [] ハード面：() (X) その他 []	(33文字) (33文字)	事故後の現場全体の措置改善事項等 (250文字)
安全点検の実施状況	安全点検コード (最も重点をおいた項目上位3つをコード番号から記入する。)	現場全体	1.人的面：() (X) その他 [] 2.物的面：() (X) その他 [] 3.管理面：() (X) その他 [] 4.環境面：() (X) その他 []	(29文字)	
	内容 (160文字)	現場全体	1.人的面：() (X) その他 [] 2.物的面：() (X) その他 [] 3.管理面：() (X) その他 [] 4.環境面：() (X) その他 []	(29文字)	事故後の当該作業の措置改善事項等 (160文字)

施工体系図

(無い場合は、それに準ずるものを添付して下さい。)

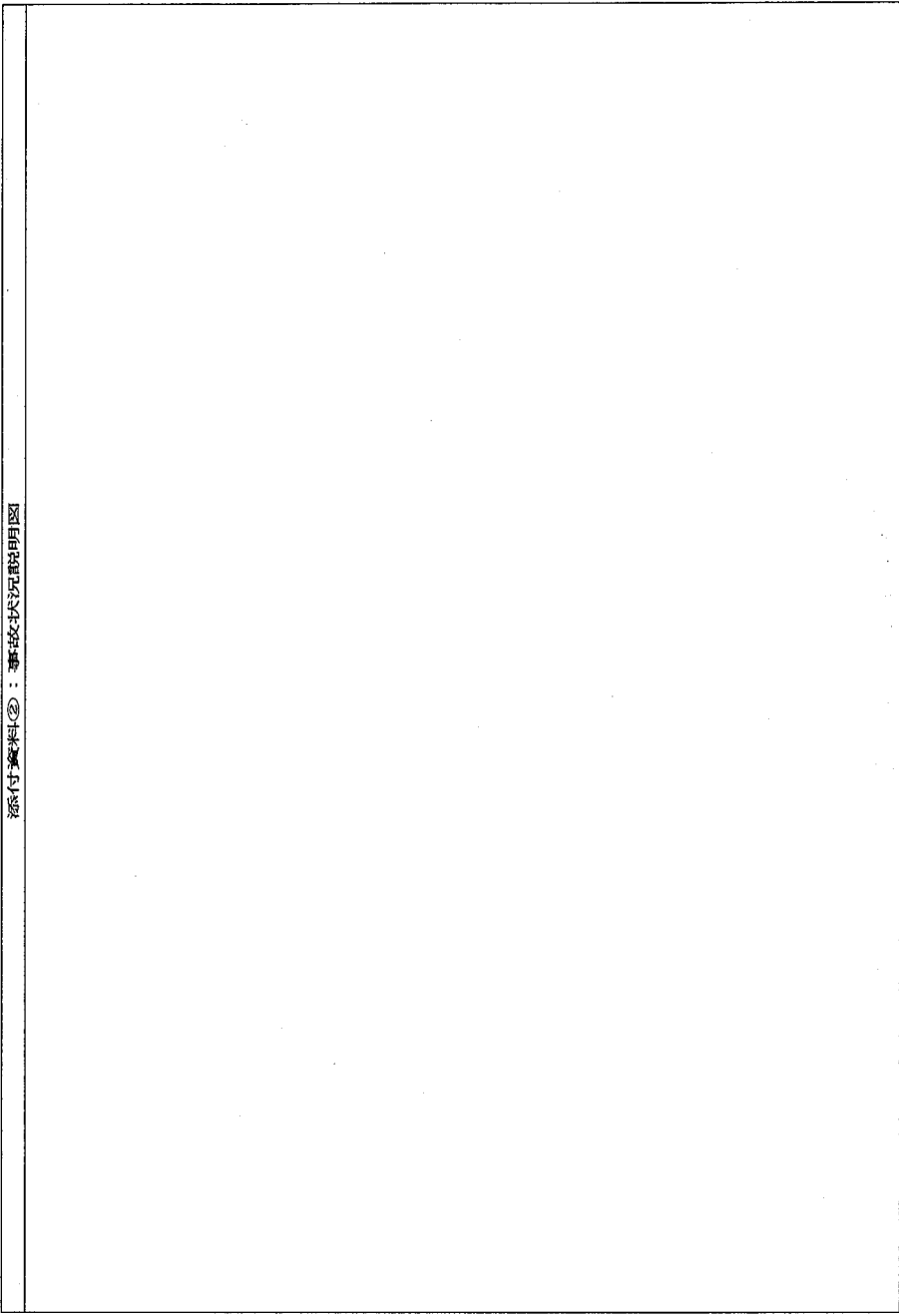
--

添付資料①：事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書（三次事故以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

(01/08/25版)

添付資料②：事故状況説明用図



(*図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書（三大事故以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

(01/08/25版)

<p>添付寸法資料③—1：事故状況大別平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)</p> <p>作用員・誘導員配置状況図 (記入方法) 記号(右の凡例参照)を使用して、 下の図様のまわりに配置状況を図示する。 *右下の記入例参照</p>	<p>添付寸法資料③—2：事故状況大別断面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)</p>						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">◎</td> <td>荷重配置していた誘導員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">△</td> <td>配置していたが、事故発生時には現場を離れていた誘導員</td> </tr> </table> <p>例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>従業員(係長等)</td> </tr> </table>	◎	荷重配置していた誘導員	△	配置していたが、事故発生時には現場を離れていた誘導員	<input type="checkbox"/>	従業員(係長等)	<div style="text-align: center; margin: 20px 0;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100px;"> (前方) (後方) </div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 50px; font-weight: bold; font-size: 24px;">重機</div> </div>
◎	荷重配置していた誘導員						
△	配置していたが、事故発生時には現場を離れていた誘導員						
<input type="checkbox"/>	従業員(係長等)						
<p>記入例</p>	<p style="text-align: right;">(*図中に寸法を明記すること)</p>						

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を出して下さい。

平成 年度 事故報告書 【請負業者用】 (2/4)

建築事故用
【請負業者用】
様式-2(2)

事故当事者		被災者		加害に関係した者	
氏名	性別	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女
現職経歴年数	()年	()年	()年	()年	()年
入場日	()日	()日	()日	()日	()日
事故の経緯とその内容 2. 有りの場合には内容を記入					
1. 無し 2. 有り					
事故当事者の情報					
社員・季節労働者等の別		1. 元請		1. 元請	
労働者等の別		2. 下請社員 ()次		2. 下請社員 ()次	
		3. 季節労働者		3. 季節労働者	
		4. 第3者		4. 第3者	
雇用形態		1. 常雇		1. 常雇	
(第3者は除外)		2. 臨時		2. 臨時	
		3. 日雇		3. 日雇	
		4. その他		4. その他	
給与形態		1. 月給		1. 月給	
(第3者は除外)		2. 日給		2. 日給	
		3. その他		3. その他	
		4. 月給		4. 月給	
		5. その他		5. その他	
		6. その他		6. その他	

左表の「建設工事の種類」のコード表

コード	工事の種類	コード	工事の種類
01	土木一式	17	仮設 (しゅんせつ)
02	土木一式 (PC)	18	板金
03	建築一式	19	ガラス
04	大工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	とび工 (柱間)	22	内装仕上げ
07	とび工 (柱間)	23	機械器具
08	石	24	熱線線
09	屋根	25	電気通信
10	電気	26	運搬
11	管	27	さく井
12	タイル	28	建築
13	鋼筋コンクリート	29	水道
14	鋼筋コンクリート (鋼筋上)	30	消防
15	鉄筋	31	消防
16	はね	99	その他

会社名	30文字以内				
	1. 元請	2. 下請	1級	2級	その他
建設工事の種類	1級	2級	その他	評価級数	評点Z
1位	0000	0000	0000	0000	0000
2位	0000	0000	0000	0000	0000
3位	0000	0000	0000	0000	0000
4位	0000	0000	0000	0000	0000
5位	0000	0000	0000	0000	0000
上記以外の建設業者の合計人数	0000	0000	0000	0000	0000
工事の種類(10~14番参照)とその人数を多い順に上位5まで記入					
1. 黒	有り (有り) のとき、その内容記入 (150文字)				
2. 黒	有り (有り) のとき、その内容記入 (150文字)				
事故の有無とその内容 (過去5年)					

事故の原因となった者 (請負者、自営者、職労者等) の所属する会社の、工事種別別有資格者数を多い順に上位5位まで記入する。この有資格者数、評点Z等は「経営事項審査結果通知書」から引用できる。また、(付) 建設業情報センターの Home page [http://www.cic.or.jp] から引取することも可能である。

また、事故の原因となった者の所属する会社は建設業を営む場合、2社目以降はこの「様式-2(2)」をコピーし上記 (事故の原因となった者の所属する会社の規模) のみを入力し、提出する。

安全対策の取組状況	現場全体	安全対策コード コード番号6参照 (a)内容には最も重点をおいた 項目の上位3つを記入する)	対象者 新規入場者・作業変更者 作業員 その他	a.内容 (複数回答可)		b.教材 (複数回答可)		c.実施頻度	
				() (X) その他 []	() (X) その他 []	() (X) その他 []	() (X) その他 []	() (X) その他 []	() (X) その他 []
安全対策の取組状況	当該作業	安全対策コード コード番号6参照 (a)内容には最も重点をおいた 項目の上位3つを記入する)	対象者 新規入場者・作業変更者 作業員 その他	a.内容 (複数回答可)		b.教材 (複数回答可)		c.実施頻度	
	現場全体	安全対策コード コード番号7から記入する。)	ソフトウェア：() (X) その他 [] ハード面：() (X) その他 []	ソフトウェア：() (X) その他 [] ハード面：() (X) その他 []		ソフトウェア：() (X) その他 [] ハード面：() (X) その他 []		ソフトウェア：() (X) その他 [] ハード面：() (X) その他 []	
安全管理の実態状況	当該作業	事故発生現場周辺の取 組、取組状況 (該当するものに○、無し の場合は記入)	手まりの取組状況 (1.有り 2.無し) 防火の取組状況 (1.有り 2.無し) 緊急設備の取組状況 (1.有り 2.無し)	手まりの取組状況 (1.有り 2.無し) 防火の取組状況 (1.有り 2.無し) 緊急設備の取組状況 (1.有り 2.無し)		手まりの取組状況 (1.有り 2.無し) 防火の取組状況 (1.有り 2.無し) 緊急設備の取組状況 (1.有り 2.無し)		手まりの取組状況 (1.有り 2.無し) 防火の取組状況 (1.有り 2.無し) 緊急設備の取組状況 (1.有り 2.無し)	
	現場全体	安全点検コード (最も重点をおいた項目上位3つを コード番号6から記入する。)	人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []	人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []		人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []		人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []	
安全点検の取組状況	当該作業	安全点検コード (最も重点をおいた項目上位3つを コード番号6から記入する。)	人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []	人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []		人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []		人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []	
	現場全体	安全点検コード (最も重点をおいた項目上位3つを コード番号6から記入する。)	人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []	人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []		人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []		人的面：() (X) その他 [] 物的面：() (X) その他 [] 管理面：() (X) その他 [] 環境面：() (X) その他 []	
事故後の現場全体の措置改善事項等 (250文字)									
事故後の当該作業の措置改善事項等 (160文字)									

事故報告書には、一般事故報告書（三大事以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書の4種類があります。該当する報告書を選択して下さい。

施工体系図

(無い場合は、それに替るものを貼付して下さい。)

Blank area for the construction system diagram.

事故報告書には、一般事故報告書(三次事故以外)、墜落事故報告書、重傷事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料①：事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書（三大事故以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

(01/08/24版)

添付資料②：事故状況説明用図

事故報告書とは、一般事故報告書（三大事故以外）、墜落事故報告書、重傷事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

（*図中に寸法を明記すること）

（01/08/24版）

添付資料③-1：事故現場平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)	添付資料③-2：事故現場写真撮影図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)

(※図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、警察事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を選出して下さい。

交通事故用
【賠償業者専用】
様式-2(2)

平成 年度 事故報告書 【請負業者専用】 (2/4)

交通機関

事故当事者	氏名					加害に関係した者			
	性別	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女				
現場経緯	経緯	()年 ()月 ()日				()年 ()月 ()日			
	入り場	()日				()日			
事故原因	事故原因	1. 無し 2. 有り				1. 無し 2. 有り			
	その他の内容								
事故当事者の情報	社員・客席	1. 元請 ()次				1. 元請 ()次			
	労働者	2. 下請社員 ()次				2. 下請社員 ()次			
雇用形態	雇用形態	3. 季節労働者				3. 季節労働者			
	(第3者は)	4. 第3者				4. 第3者			
給付形態	給付形態	1. 常雇				1. 常雇			
	(第3者は)	2. 臨時				2. 臨時			
		3. 日雇				3. 日雇			
		4. その他				4. その他			
		1. 日給・月給				1. 日給・月給			
		2. 日給				2. 日給			
		3. その他				3. その他			

左表の「建設工事の種類」のコード

コード	工事の種類	コード	工事の種類
01	土木一式	17	塗装 (しゅんせつ)
02	土木一式 (P.C)	18	板金
03	建築一式	19	ガラス
04	大工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	とび工	22	内装仕上げ
07	とび工 (法面)	23	機械器具
08	石	24	熱絶縁
09	屋根	25	電気通線
10	電気	26	造園
11	管	27	さく井
12	鋼構造物	28	理具
13	鋼構造物 (鋼橋上)	29	水道
14	鉄骨	30	消防
15	舗装	31	清掃
16	舗装	99	その他

事故の原因となった者 (加害者、被害者) の所属する会社の規模	1. 元請け	2. 下請け ()次	3. その他	4. その他
	1級	2級	3級	その他
被害者の所属する会社の規模	1位	()	()	()
	2位	()	()	()
被害者の職名	3位	()	()	()
	4位	()	()	()
被害者の職名	5位	()	()	()
	6位	()	()	()
被害者の職名	7位	()	()	()
	8位	()	()	()
被害者の職名	9位	()	()	()
	10位	()	()	()
被害者の職名	11位	()	()	()
	12位	()	()	()
被害者の職名	13位	()	()	()
	14位	()	()	()
被害者の職名	15位	()	()	()
	16位	()	()	()
被害者の職名	17位	()	()	()
	18位	()	()	()
被害者の職名	19位	()	()	()
	20位	()	()	()
被害者の職名	21位	()	()	()
	22位	()	()	()
被害者の職名	23位	()	()	()
	24位	()	()	()
被害者の職名	25位	()	()	()
	26位	()	()	()
被害者の職名	27位	()	()	()
	28位	()	()	()
被害者の職名	29位	()	()	()
	30位	()	()	()
被害者の職名	31位	()	()	()
	32位	()	()	()
被害者の職名	33位	()	()	()
	34位	()	()	()
被害者の職名	35位	()	()	()
	36位	()	()	()
被害者の職名	37位	()	()	()
	38位	()	()	()
被害者の職名	39位	()	()	()
	40位	()	()	()
被害者の職名	41位	()	()	()
	42位	()	()	()
被害者の職名	43位	()	()	()
	44位	()	()	()
被害者の職名	45位	()	()	()
	46位	()	()	()
被害者の職名	47位	()	()	()
	48位	()	()	()
被害者の職名	49位	()	()	()
	50位	()	()	()
被害者の職名	51位	()	()	()
	52位	()	()	()
被害者の職名	53位	()	()	()
	54位	()	()	()
被害者の職名	55位	()	()	()
	56位	()	()	()
被害者の職名	57位	()	()	()
	58位	()	()	()
被害者の職名	59位	()	()	()
	60位	()	()	()
被害者の職名	61位	()	()	()
	62位	()	()	()
被害者の職名	63位	()	()	()
	64位	()	()	()
被害者の職名	65位	()	()	()
	66位	()	()	()
被害者の職名	67位	()	()	()
	68位	()	()	()
被害者の職名	69位	()	()	()
	70位	()	()	()
被害者の職名	71位	()	()	()
	72位	()	()	()
被害者の職名	73位	()	()	()
	74位	()	()	()
被害者の職名	75位	()	()	()
	76位	()	()	()
被害者の職名	77位	()	()	()
	78位	()	()	()
被害者の職名	79位	()	()	()
	80位	()	()	()
被害者の職名	81位	()	()	()
	82位	()	()	()
被害者の職名	83位	()	()	()
	84位	()	()	()
被害者の職名	85位	()	()	()
	86位	()	()	()
被害者の職名	87位	()	()	()
	88位	()	()	()
被害者の職名	89位	()	()	()
	90位	()	()	()
被害者の職名	91位	()	()	()
	92位	()	()	()
被害者の職名	93位	()	()	()
	94位	()	()	()
被害者の職名	95位	()	()	()
	96位	()	()	()
被害者の職名	97位	()	()	()
	98位	()	()	()
被害者の職名	99位	()	()	()
	100位	()	()	()

事故の原因となった者 (加害者、被害者) の所属する会社の規模、工事種別、賠償格を多量に上位5位まで記入する。この有資格者、自賠保等 (賠償等) 事項は「賠償等」から引用できる。また、(財) 建設業情報センターの Home page (http://www.aic.or.jp) からこれを検索することも可能である。
また、事故の原因となった者 (加害者、被害者) の所属する会社の規模は、2社目以降はこの「様式-2(2)」をコピーし上記表 (事故の原因となった者の所属する会社の規模) のみを記入し、提出する。

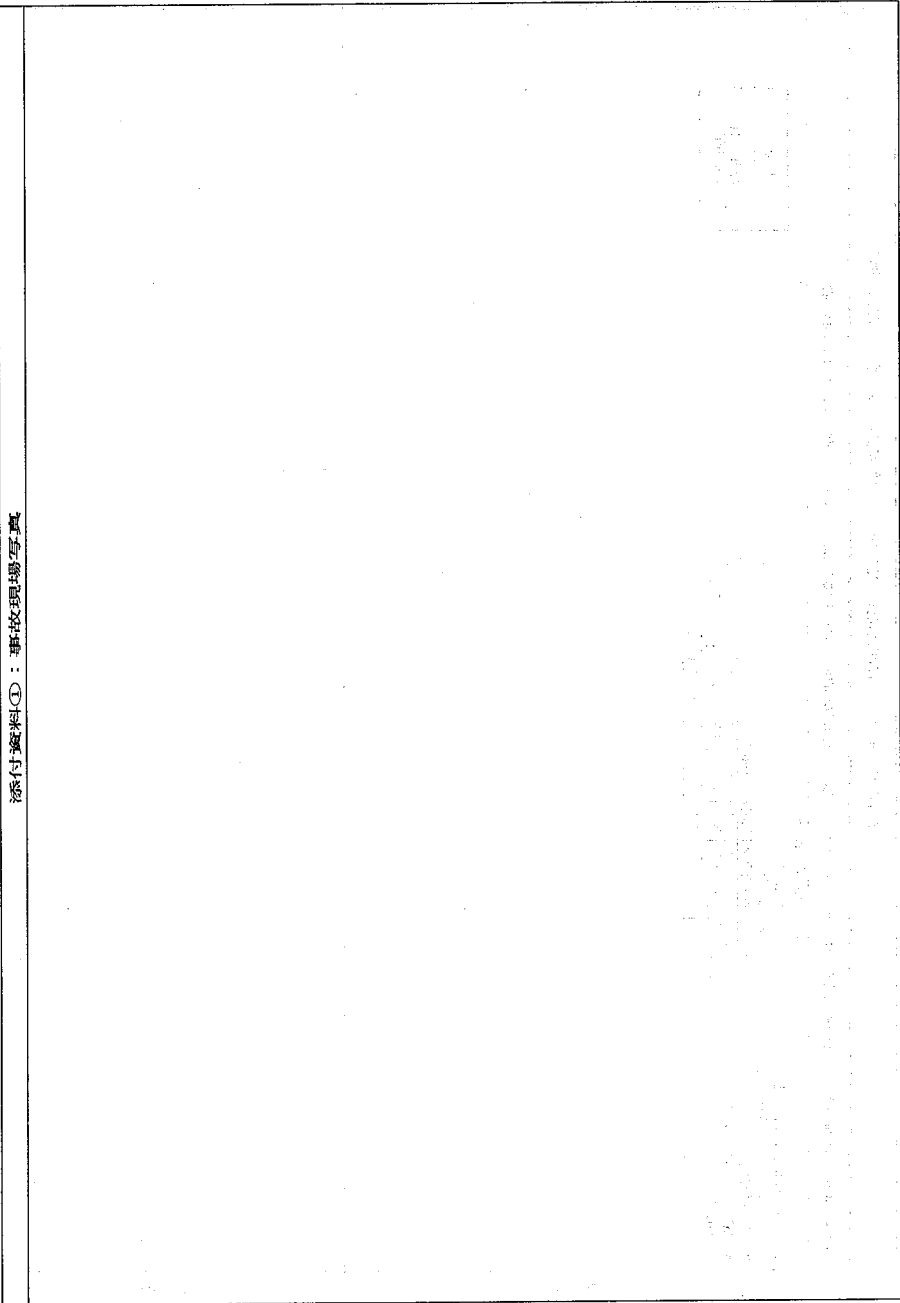
事故報告書には、一般事故報告書 (三大事故以外)、墜落事故報告書、重傷事故報告書、交通事故報告書を提出して下さい。

(01/08/25版)

施工体系図 (無い場合は、それに準ずるものを貼付して下さい。)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料①：事故現場写真



事故報告書には、一般事故報告書（三六事故以外）、墜落事故報告書、交通事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

(01/08/25版)

添付資料③-1：事故状況写真平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)	添付資料③-2：事故状況写真断面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)

事故報告書には、一般事故報告書（三大事故以外）、墜落事故報告書、直撞事故報告書、交通事事故報告書の4種類があります。該当する報告書を出して下さい。

(*図中に寸法を明記すること)

(01/08/25版)

一般事故用(三大多発事故以外)平成 年度 事故報告書 【請負業者用】(2/4)

事故当事者		被災者		所属に関係した者	
氏名	名	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女
性別	別	()年	()年	()年	()年
現職経歴	年数	()日	()日	()日	()日
入	入	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り
事故の有無とその内容 2. 有りの場合は内容を記入					
社員・季節労働者の別					
雇用形態 (第3者は除く)					
総務形態 (第3者は除く)					

事故の原因となった者の所属と会社の規模

会社名	1. 元請	2. 下請	1 級	2 級	その他	技術員数	評点 Z
当該会社	()	()	()	()	()	()	()
有関係者数	()	()	()	()	()	()	()
3位	()	()	()	()	()	()	()
4位	()	()	()	()	()	()	()
5位	()	()	()	()	()	()	()
上記以外の資格保有者の合計人数	()	()	()	()	()	()	()
1. 無し 2. 有り (有りのとき、その外資系記入) (100文字)	()	()	()	()	()	()	()
事故の有無とその内容 (過去5年)	()	()	()	()	()	()	()

・事故の原因となった者(知照者、自覚者、被災者等)の所属する会社の、工事種別(有資格者数)を多くし、順位を上げ、順位を上げる。この有資格者数、評点 Z 等は「経営者調査結果通知書」から引用できる。また、(財)建設業情報センターの Home page (<http://www.cic.or.jp>) からこれを検索することも可能である。
 ・また、事故の原因となった者の所属する会社内数社ある場合、2社目以降はこの「様式-2(2)」をコピーし、上記表(事故の原因となった者の所属する会社の規模)のみを記入し、提出する。

左表の「建設工事の種類」のコード表

コード	工事の種類	コード	工事の種類
01	土木一式	17	炭鉱(しめ込)
02	土木一式(P-C)	18	採金
03	建築一式	19	ガラス
04	大工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	とび工	22	内装仕上げ
07	とび工(法面)	23	機械器具
08	石	24	熱線線
09	屋根	25	電気通信
10	電気	26	造屋
11	管	27	さく井
12	タイル	28	積炭
13	新築建物(鋼筋上)	29	水道
14	新築建物(鋼筋上)	30	消防
15	鉄筋	31	沼掘
16	は鉄	99	その他

一般事故用（三大発災事故以外）

【附作業書用】
様式一 2（4）

平成 年度 事故報告書 【附作業書用】（4/4）

施工体系図

（無い場合は、それに替するものを添付して下さい。）

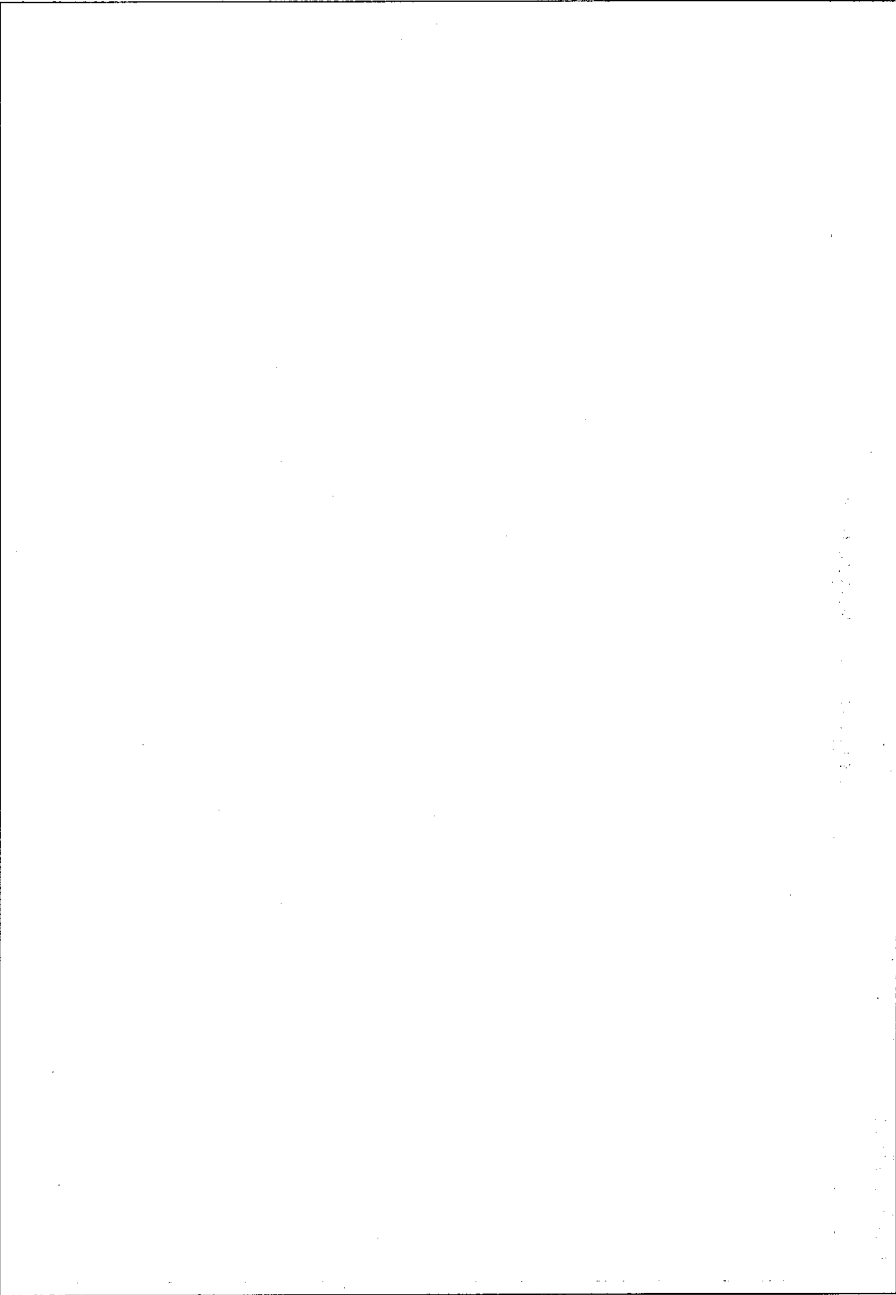
Blank area for the construction system diagram.

事故報告書には、一般事故報告書（三大事故以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

(01/08/24版)

一般事故用（三大交通事故以外）
【請負業者用】

添付資料④：事故現場写真

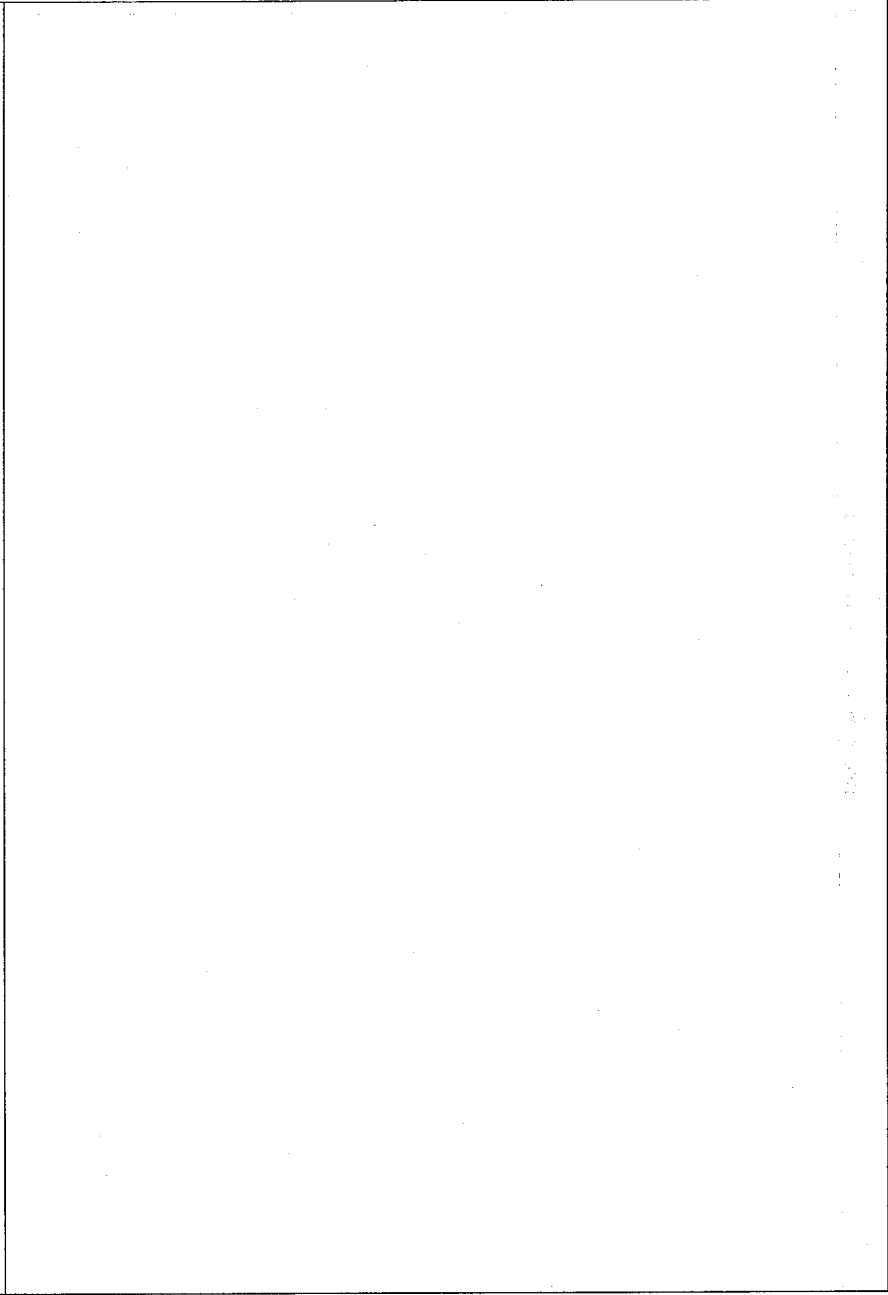


事故報告書には、一般事故報告書（三大事故以外）、医療事故報告書、重傷事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

(01/09/24版)

一般事故用（三大多発事故以外）
【前頁表参照】

添付資料②：事故状況説明図



（※図中に守法を明記すること）

事故報告書には、一般事故報告書（三大多発事故以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

(01/08/24版)

一般事故用（三大多発事故以外）

【請負業者用】

添付資料③—1：事故状況写真写真 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)	添付資料③—2：事故状況写真写真 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)

事故報告書には、一般事故報告書（三大多発事故以外）、墜落事故報告書、重傷事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

(01/08/2版)

事故報告書等の記入コード表（関係業者用）

大庄・知事コード一覧表（表1）

コード	建野大庄	コード	三井炭坑	コード	石野支庁
00		24		80	
01	吉野炭坑	25	遊野炭坑	81	真高支庁
02	岩手炭坑	26	京都炭坑	82	松山支庁
03	宮城炭坑	27	大阪炭坑	83	俊徳支庁
04	秋田炭坑	28	兵衛炭坑	84	安和支庁
05	山形炭坑	29	奈良炭坑	85	上川支庁
06	福島炭坑	30	和歌山炭坑	86	伊那支庁
07	茨城炭坑	31	鳥取炭坑	87	宗谷支庁
08	栃木炭坑	32	高松炭坑	88	瀬田支庁
09	群馬炭坑	33	岡山炭坑	89	胆振支庁
10	群馬炭坑	34	山口炭坑	90	日南支庁
11	千葉炭坑	35	徳島炭坑	91	十勝支庁
12	東京炭坑	36	徳島炭坑	92	網走支庁
13	神奈川炭坑	37	香川炭坑	93	釧路支庁
14	新潟炭坑	38	愛媛炭坑		
15	富山炭坑	39	高知炭坑		
16	石川炭坑	40	福岡炭坑		
17	山梨炭坑	41	佐賀炭坑		
18	山梨炭坑	42	熊本炭坑		
19	山梨炭坑	43	熊本炭坑		
20	長野炭坑	44	大分炭坑		
21	岐阜炭坑	45	宮崎炭坑		
22	岐阜炭坑	46	鹿児島炭坑		
23	愛知炭坑	47	沖縄炭坑		

役職コード表（表3）

コード	役職	コード	役職
01	現場代理人	06	安全衛生管理者
02	監督技師	07	副班
03	主任技師	08	安全通用員
04	関係安全衛生管理者	50	作業員
05	元方安全衛生管理者		

行動区分コード表（表4）

分類	コード	内容
当該作業現場及び 以上の階部の業者	01	当該作業現場において、作業全体を監督していた。
	02	当該作業現場において、他の作業の安全点検をしていた。
	03	当該作業現場において、作業全体の進捗状況を確認していた。
	04	当該作業現場において、当該作業を監督していた。
	05	当該作業現場において、当該作業の安全点検を実施していた。
	06	工事現場にはいなかったが、当該作業現場にはいなかった。
	07	当日は、不在であった。
当該作業現場の取 扱係（副班、安全 衛生責任者、作業 責任者等）	08	その他
	09	当該作業現場において、作業全体を監督していた。
	10	当該作業現場において、別作業の指示・監督をしていた。
	11	当該作業現場において、当該作業を指示・監督していた。
	12	当該作業現場から離れて、他の作業を指示・監督していた。
	13	工事現場にはいなかったが、当該作業現場にはいなかった。
	14	当日は、不在であった。
	15	その他
	16	被災者と一緒に作業を実施していた。
	17	被災者の近くで別作業をしていた。
当該作業現場、他 の作業現場の作業 員	18	被災者とは離れて別作業をしていた。
	19	その他

要因コード表（表2）

共通要因・人的要因		物的要因		管理的要因			
共通要因	A	危険だと思わなかった。	01	設計構造が悪かった。	01	作業方法を教えていなかった。	
	B	危険だと思っていたが、大丈夫だろうと思っ て危険な行動をとった。	02	機械・器具の材料に欠陥があった。	02	危険な有害作業の教育が不十分だった。	
	C	危険だと思っていたが、誤った知識による (危険な) 行動をとった。	03	機械・器具に欠陥があった。	03	基礎心身の教育・訓練が不十分だった。	
	D	危険だと思っていたが、無意識(うっかり) による行動をとった。	04	安全度が不足だった。	04	理解度の確認が不十分だった。	
人的要因	01	機械・装置等の操作取り扱いを誤った。	05	危険防止設備が欠陥・未設置だった。	05	教育訓練体制が不備であった。	
	02	資格が無いのにやった。	06	開口部覆い・手摺等防止設備に欠陥があった。	06	施工計画・作業標準が不備だった。	
	03	指示、命令を守らなかった。	07	作業床等防止設備に欠陥・未設置があった。	07	作業の安全指示が不適切だった。	
	04	作業標準を守らなかった。	08	水平・垂直養生が欠陥・未設置だった。	08	作業員の配置に能力・人数が無理があった。	
	05	安全装置をはずした。無効にした。	09	安全帯取り付け設備が欠陥・未設置だった。	09	雇工制台帳に不備があった。	
	06	機械・装置等を指定の方法で使った。	10	安全通路・昇降設備が欠陥・未設置だった。	10	作業の安全指示が不適切だった。	
	07	防護物・保護具を使用しなかった。	11	スタージ・滑台・ローリングクローに欠陥があった。	11	無資格者にやらせた。	
	08	機械・装置等を安全に動かした。	12	梯子・脚立等に欠陥があった。	12	安全対策費用が不十分だった。	
	09	準備取扱い点検。確認を怠った。	13	飛来落下防塵が欠陥・未設置だった。	13	適切な技術者の配置に不備があった	
	10	欠陥のある機械・装置、工具、用具等を用 いた。	14	投下設備の設置が欠陥・未設置だった。	14	無資格者にやらせた。	
	11	機械・装置を不安全な状態にして放置した。	15	安全装置が不運。不良だった。	15	事前調査・資料調査が不十分だった。	
	12	工具、用具、材料等を不安全な場所に置い た。	16	防火設備に欠陥・不備があった。	16	現場施工条件変化に不適切に対応した。	
肉体的精神的要因	13	油断、軽視した。	17	安全確認がなかった。	17	下りげ降車が不適切だった。	
	14	放心、考えごとをしていた。	18	保護具が不運・不足だった。	18	緊急通報体制が未確立・不備であった。	
	15	気持ちがあせっていた。	19	保護具が不良だった。	19	安全監査・安全確認の点検不足だった。	
	16	暴走し判断をした。	20	不安全に物が置いてあった。	20	隣接工区との連絡に不備があった。	
	17	危険を知らずにやった。	21	物を置いた場所が悪かった。	21	責任者が日常監視をしていなかった。	
	18	熱中して利らなかつた。	22	作業場が狭かった。	22	周辺地域への周知に不備があった。	
	19	よそ見をしていた。	23	作業場の整理が悪かった。	23	資格者のチェックをしていなかった。	
	20	身体の不調があった。	24	照明が不良だった。	24	気象条件の収集と対応をしなかった。	
	21	連絡台図がなかった。	25	換気が悪かった。	25	安全管理体制に欠陥があった。	
	22	連絡台図が不明瞭だった。	26	騒音があった。	26	工事現場出入口付近での交通事故防止対策を しなかった。	
	23	台図、図号を統一していなかった	27	新雪が多かった。	27	作業中止の基準を定めていなかった。	
	24	相手の動作を確認しなかった	28	霧が多かった。	28	健康診断を実施していなかった。	
共通作業上の行為	25	台図を間違えた。	29	蔵欠状態だった。	29	危険物の管理に欠陥・不備があった。	
	26	危険有害な場所に入った。	30	ガスが存在していた。	30	現場内連絡調整が不備だった。	
	27	不安全な場所へ行った。	31	交通量が多かった。	31	工程に無理があった。	
	28	動いている機械、装置等に接近しまたは触 れた。	32	天候条件が悪かった（雨・風・雪等）。	99	その他	
	29	つり荷に触れ、下に入りまたは近づいた。	33	地形条件が悪く、見通しが悪かった。			
	30	確認なしに崩れやすい物に寄りまたは触れ た。	34	作業環境項目を測定していなかった。			
	31	無理な姿勢で作業した。	35	その他の作業環境に欠陥があった。			
	32	服装が不適だった。	99	その他			
	33	保護具の選択、使用方法を誤った。					
	その他	23	その他の不安全行為があった				
		99	その他				

資格・免許コード表 (表 5)

コード	資格・免許分類	コード	資格・免許分類	コード	資格・免許分類
001	一般建設機械操縦工	044	土工板金 (2 級)	082	プレス機械作業主任者
002	二級建築機械操縦工	045	板金 1 種板金作業員、建築板金・板金工「建築板金作業」(1 級)	083	乾燥設備作業主任者
003	一般土木施工管理技士	046	板金 2 種板金作業員、建築板金・板金工「建築板金作業」(2 級)	084	コンクリート配筋器作業主任者
004	一般土木施工管理技士	047	板金・板金工、打出し板金 (1 級)	085	地山の掘削作業主任者
005	一般建築施工管理技士	048	板金・板金工、打出し板金 (2 級)	086	土心土保工業主任者
006	一般建築施工管理技士	049	かわらぶき・スレート施工 (1 級)	087	ずり・選等の掘削等作業主任者
007	一般電気工事施工管理技士	050	かわらぶき・スレート施工 (2 級)	088	ずり・選等の掘削作業主任者
008	一般電気工事施工管理技士	051	ガラス施工 (1 級)	089	採石のための掘削作業主任者
009	一般電気工事施工管理技士	052	ガラス施工 (2 級)	090	はい作業主任者
010	一般建築施工管理技士	053	鉄骨・木工塗装・木工塗装工 (1 級)	091	船舶修繕作業主任者
011	一般建築施工管理技士	054	鉄骨・木工塗装・木工塗装工 (2 級)	092	製わく支援工の組立て等作業主任者
012	一般建築士	055	建築塗装・建築塗装工 (1 級)	093	足場の組立て等作業主任者
013	一般建築士	056	建築塗装・建築塗装工 (2 級)	094	建築修繕等作業主任者
014	第一種電気工事士	057	金属塗装・金属塗装工 (1 級)	095	鋼橋修繕等作業主任者
015	第一種電気工事士	058	金属塗装・金属塗装工 (2 級)	096	水産養殖物の組立て等作業主任者
016	第一種電気工事士	059	金属塗装 (1 級)	097	コンクリート等の工作物の解体等作業主任者
017	第一種電気工事士	060	金属塗装 (2 級)	098	コンクリート構築物等作業主任者
018	電気主任技術者 (第 1 種、第 3 種)	061	製鋼作・量工 (1 級)	099	第一種圧入工等作業主任者
019	電気主任技術者 (第 1 種、第 3 種)	062	製鋼作・量工 (2 級)	100	第一種圧入工等作業主任者
020	建築士 (2 級)	063	内装仕上げ施工・カーテン施工・天井仕上げ施工・天井上げ	101	特定化学物質等作業主任者
021	左官 (1 級)	064	施工・塗装・装具・装具工 (2 級)	102	製作業主任者
022	左官 (2 級)	065	内装仕上げ施工・カーテン施工・天井仕上げ施工・天井上げ	103	四アルキル鉛等作業主任者
023	とび・とび工・型枠施工・コンクリート圧送施工 (1 級)	066	施工・塗装・装具・装具工 (1 級)	104	産業火気危険作業主任者
024	とび・とび工・型枠施工・コンクリート圧送施工 (2 級)	067	施工・塗装・装具・装具工 (2 級)	105	有機溶剤作業主任者
025	空気圧射設備配置 (1 級)	068	熱処理施工 (1 級)	106	第一種衛生管理技士
026	空気圧射設備配置 (2 級)	069	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	107	第二種衛生管理技士
027	給排水衛生設備配置 (1 級)	070	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	108	養生学級衛生管理技士
028	給排水衛生設備配置 (2 級)	071	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	109	放射線作業主任者
029	配管・配管工 (1 級)	072	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	110	放射線作業主任者
030	配管・配管工 (2 級)	073	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	111	放射線作業主任者
031	タイムリリ・タイムリリ工 (1 級)	074	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	112	放射線作業主任者
032	タイムリリ・タイムリリ工 (2 級)	075	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	113	放射線作業主任者
033	鋸研・鋸研工 (1 級)、れんが積み	076	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	114	放射線作業主任者
034	鋸研・鋸研工 (2 級)	077	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	115	放射線作業主任者
035	ブロック建築・ブロック建築工 (1 級)・コンクリート積み	078	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	116	放射線作業主任者
036	ブロック建築・ブロック建築工 (2 級)	079	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	117	放射線作業主任者
037	土工・石積施工・石積み (1 級)	080	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	118	放射線作業主任者
038	土工・石積施工・石積み (2 級)	081	器具製作・器具工・木工・カーテンウォール施工・サウンダ	119	放射線作業主任者
039	土工・石積 (1 級)			120	放射線作業主任者
040	土工・石積 (2 級)			121	放射線作業主任者
041	鉄筋組立て・鉄筋組立工 (1 級)			122	その他
042	鉄筋組立て・鉄筋組立工 (2 級)				
043	工場板金 (1 級)				

事故報告書の記入コード表（請負業者用）

安全教育コード表（表6）

コード	教育内容
01	機械等、原材料等の危険性又は有害性及びこれらの取扱い方法に関すること
02	安全装置、有害物抑制装置又は保護具の性能及びこれらの取扱い方法に関すること
03	作業手順に関すること
04	作業開始時の点検に関すること
05	当該業務に発生するおそれのある疾病の原因及び予防に関すること
06	整理・整頓及び清潔の保持に関すること
07	事故時等における応急措置及び退避に関すること
08	その他当該業務に関する安全又は衛生のために必要な事項
99	その他

表6b 教材

コード	教材
01	ビデオ
02	スライド
03	マニュアル
99	その他

表6c 実施頻度

コード	実施頻度
01	随時
02	毎日
03	週1回程度
04	月1回程度
99	その他

安全点検コード表（表8）

分類	コード	点検項目
1.人的面からの点検	01	保護具
	02	健康
	03	技能
	04	資格
	05	適正配置
2.物的面からの点検	01	設備
	02	機械
	03	材料
	04	工具
3.管理面からの点検	01	作業内容
	02	作業手順
	03	作業時間の調整
	04	緊急時の措置
4.環境面からの点検	99	その他
	01	作業場所
	02	有害物
	03	換気
	04	照明
	05	温度
	06	湿度
	99	その他

安全対策コード表（表7）

表7a ソフト面での対策

コード	ソフト面での対策
01	ツール・ボックス・ミーティング
02	危険予知 (KY) 運動
03	ヒヤリ・ハット運動
04	ゼロ欠運動
05	整理・整頓運動
06	安全意識の高揚運動
07	安全施工サイクル活動
08	着手前打合せ
09	安全工程打合せ
10	安全朝礼
11	安全ミーティング
12	安全パトロール
99	その他

表7b ハード面での対策

コード	ハード面での対策
01	作業帯区域バリケードの設置
02	安全ネットの設置
03	第三者に対する注意警備の設置
04	車両等専用の配置
05	場内安全通路の設け
06	立入禁止区域の標定・区画
99	その他

事故報告書の記入コード表 (担当者用)

重機事故コード表 (表9)

重機コード表

事故区分	重機種別	コード
掘削機械	バックホー	01
	クラムシェル	02
	クレーン、エレベータ	03
	ラダークレーン	04
	高所作業車およびウインチ	05
	クローラークレーン	06
	クレーン (固定型)	07
	傾斜型トラッカークレーン	08
	エレベーター	09
	高所作業車	10
運搬機械	ウインチ	11
	ダンプトラック	12
	トラック	13
	不燃油運搬車	14
	トラックトラクタ	15
	コンバイン	16
	モトローラー	17
	モータグラブダ、	18
	スタピラライザ	19
	道路機械および締固め機械	20
維持・修繕機械および給油機械	ロードローラ	21
	タピローラ	22
	清道車	23
	路面凸削機	24
	除雪車	25
	除雪車	26
	凍結防止剤散布車	27
	ブルドーザ	28
	ブルドーザおよびスクレーバ	29
	ブルドーザ	30
基礎工事機械	クレーン	31
	クレーン	32
	クレーン	33
	クレーン	34
	クレーン	35
	クレーン	36
	クレーン	37
	クレーン	38
	クレーン	39
	クレーン	40
作業船	浮体式掘削機	41
	浮体式掘削機	42
	浮体式掘削機	43
	浮体式掘削機	44
	浮体式掘削機	45
	浮体式掘削機	46
	浮体式掘削機	47
	浮体式掘削機	48
	浮体式掘削機	49
	浮体式掘削機	50

作業位置コード表

作業位置	動作状況コード表
1 重機の真後ろで作業	1 前進
2 重機の側面へ作業	2 後退
3 重機の後方側面へ作業	3 旋回・操作中
4 重機の前側面へ作業	4 作業装置操作時
5 重機の前側面へ作業	5 停止時
6 重機内(オペレーター)	9 その他

動作状況コード表

動作状況	作業内容コード表
1 前進	1 掘削
2 後退	2 運搬
3 旋回・操作中	3 旋回・移動
4 作業装置操作時	4 旋回・移動
5 停止時	5 旋回・移動
9 その他	9 その他

作業内容コード表

作業内容	作業内容コード表
1 掘削	1 掘削
2 運搬	2 運搬
3 旋回・移動	3 旋回・移動
4 旋回・移動	4 旋回・移動
5 旋回・移動	5 旋回・移動
6 旋回・移動	6 旋回・移動
7 旋回・移動	7 旋回・移動
8 旋回・移動	8 旋回・移動
9 旋回・移動	9 旋回・移動
10 旋回・移動	10 旋回・移動
99 その他	99 その他

作業手順無視不良コード表

作業手順無視不良	作業手順無視不良コード表
1 エンジン未停止作業	1 エンジン未停止作業
2 玉掛確認不備	2 玉掛確認不備
3 作業前点検不備	3 作業前点検不備
4 車両停止時点検不備	4 車両停止時点検不備
5 重機すべり止め対策不備	5 重機すべり止め対策不備
6 不要切込合図	6 不要切込合図
7 ルート外走行	7 ルート外走行
8 前方不注意	8 前方不注意
9 走行路不安定	9 走行路不安定
10 不安全な走行姿勢	10 不安全な走行姿勢
11 狭い作業空間	11 狭い作業空間
12 車体固着箇所内作業	12 車体固着箇所内作業
13 機体振動中の操作 (不安全行動)	13 機体振動中の操作 (不安全行動)
14 重機との安全距離の不十分	14 重機との安全距離の不十分
15 吊り荷の脱落・崩れ	15 吊り荷の脱落・崩れ
16 アウトリガ－設置不備	16 アウトリガ－設置不備
17 安全装置解除	17 安全装置解除
18 取置き資材の不安定	18 取置き資材の不安定
19 過積載	19 過積載
20 旋回操作不備	20 旋回操作不備
21 不安全な重機操作	21 不安全な重機操作
22 向し作業不備	22 向し作業不備
23 解体作業の不備	23 解体作業の不備
24 機体取付け作業の不備	24 機体取付け作業の不備
25 重機足場の不備	25 重機足場の不備
26 配線・ケーブルの接続不備	26 配線・ケーブルの接続不備
27 転落防止用フットペダル設置不備	27 転落防止用フットペダル設置不備
28 運搬・積置の不備	28 運搬・積置の不備
99 その他	99 その他

作業位置コード表

作業位置	動作状況コード表
1 重機の真後ろで作業	1 前進
2 重機の側面へ作業	2 後退
3 重機の後方側面へ作業	3 旋回・操作中
4 重機の前側面へ作業	4 作業装置操作時
5 重機の前側面へ作業	5 停止時
6 重機内(オペレーター)	9 その他

動作状況コード表

動作状況	作業内容コード表
1 前進	1 掘削
2 後退	2 運搬
3 旋回・操作中	3 旋回・移動
4 作業装置操作時	4 旋回・移動
5 停止時	5 旋回・移動
9 その他	9 その他

作業内容コード表

作業内容	作業内容コード表
1 掘削	1 掘削
2 運搬	2 運搬
3 旋回・移動	3 旋回・移動
4 旋回・移動	4 旋回・移動
5 旋回・移動	5 旋回・移動
6 旋回・移動	6 旋回・移動
7 旋回・移動	7 旋回・移動
8 旋回・移動	8 旋回・移動
9 旋回・移動	9 旋回・移動
10 旋回・移動	10 旋回・移動
99 その他	99 その他

作業手順無視不良コード表

作業手順無視不良	作業手順無視不良コード表
1 エンジン未停止作業	1 エンジン未停止作業
2 玉掛確認不備	2 玉掛確認不備
3 作業前点検不備	3 作業前点検不備
4 車両停止時点検不備	4 車両停止時点検不備
5 重機すべり止め対策不備	5 重機すべり止め対策不備
6 不要切込合図	6 不要切込合図
7 ルート外走行	7 ルート外走行
8 前方不注意	8 前方不注意
9 走行路不安定	9 走行路不安定
10 不安全な走行姿勢	10 不安全な走行姿勢
11 狭い作業空間	11 狭い作業空間
12 車体固着箇所内作業	12 車体固着箇所内作業
13 機体振動中の操作 (不安全行動)	13 機体振動中の操作 (不安全行動)
14 重機との安全距離の不十分	14 重機との安全距離の不十分
15 吊り荷の脱落・崩れ	15 吊り荷の脱落・崩れ
16 アウトリガ－設置不備	16 アウトリガ－設置不備
17 安全装置解除	17 安全装置解除
18 取置き資材の不安定	18 取置き資材の不安定
19 過積載	19 過積載
20 旋回操作不備	20 旋回操作不備
21 不安全な重機操作	21 不安全な重機操作
22 向し作業不備	22 向し作業不備
23 解体作業の不備	23 解体作業の不備
24 機体取付け作業の不備	24 機体取付け作業の不備
25 重機足場の不備	25 重機足場の不備
26 配線・ケーブルの接続不備	26 配線・ケーブルの接続不備
27 転落防止用フットペダル設置不備	27 転落防止用フットペダル設置不備
28 運搬・積置の不備	28 運搬・積置の不備
99 その他	99 その他

足場墜落事故コード表（表9）

コード	足場の種類名称
1	枠組み足場
2	剛架足場
3	木上足場
4	布張一側足場
5	一側足場
6	つりたな足場
7	つりたな足場
8	脚立足場
9	うま足場
10	移動式足場
11	コンドラ
12	フタケット
13	手すり先行型足場
14	網張先行型足場
99	その他

足場の種類コード

コード	被災者の作業区分名称
1	足場解体
2	足場組立
3	剛架組立
4	木上解体
5	木上組立
6	塗装
7	クレーン作業
8	安全ネット張り
9	その他

被災者の作業区分コード

コード	安全装置使用状況名称
1	使用した
2	教習したが未使用
3	安全湘付け替え中
4	未設置

被災者の安全装置使用状況コード

コード	墜落箇所の種類名称
1	手すり未取付箇所から
2	開口部から
3	手すりの隙間から
4	手すりの上から
5	昇降設備移動中
6	足場端部から
7	足場上の脚立から
8	足場ごと落下（足場倒壊）
9	その他

墜落箇所コード

コード	被災者の作業直前の行動名称
1	資機材上下運搬
2	足場移動中
3	足場上作業中
4	足場外周移動中
5	手すり・車智パイプ上移動中
9	その他

被災者の作業直前の行動パターンコード

コード	作業手続・現場不具合名称
1	呂舟解体手順無視
2	剛架解体手順無視
3	作業手順なし
4	足場以外移動
5	足場移動方法不備
6	予定外作業
7	型枠上での作業
8	指定外足場使用
9	足場上搭載オーバー
10	足場上での脚立使用
11	足場解体方法不備
99	その他

被災者の作業手続・現場不具合コード

事故報告書の記入コード表〔請負者用〕

交通事故コード表（表9）

表9-1 一般車両の動作状況コード表

動作状況	コード
工事区域内に向けて直進進入	1
工事区域内に対して側面進入	2
通行可能車線走行中	3
規制終了後の車線変更時	4
歩道進入	5
交差点右左折	6
交差点直進	7
その他	8

表A：事故発生場所コード表

発生場所	コード
現場外	1
現場内	2
現場出入口	3
一般公道	4

表B：作業車両動作状況

動作状況	コード
前進時	1
後退時	2
停止時	3

表C：被災者の位置

被災者の位置	コード
作業車両の真後ろで作業	1
作業車両の側面で作業	2
作業車両の後方側面で作業	3
作業車両の前方で作業	4
作業車両の前方側面で作業	5

NEW YORK STATE UNIVERSITY

DEPARTMENT OF ACCOUNTING

Accounting 101
Lecture Notes
Chapter 1: Introduction to Accounting
The primary purpose of accounting is to provide information about the economic activities of an organization. This information is used by management and other stakeholders to make decisions. Accounting is a systematic process of recording, classifying, summarizing, and reporting financial data.

DEPARTMENT OF ACCOUNTING

Accounting 101
Lecture Notes
Chapter 2: Accounting Cycle
The accounting cycle consists of eight steps: 1. Analyze and record business transactions in the journal. 2. Post the journal entries to the ledger. 3. Prepare a trial balance. 4. Adjust the ledger accounts for accruals, deferrals, and other adjustments. 5. Prepare an adjusted trial balance. 6. Prepare financial statements. 7. Close the temporary accounts. 8. Prepare a post-closing trial balance.

DEPARTMENT OF ACCOUNTING

Accounting 101
Lecture Notes
Chapter 3: Financial Statements
The financial statements provide a summary of an organization's financial performance and position. The four main financial statements are: the balance sheet, the income statement, the statement of retained earnings, and the statement of cash flows. Each statement provides different information about the organization's financial health.

DEPARTMENT OF ACCOUNTING

Accounting 101
Lecture Notes
Chapter 4: Internal Control
Internal control is a system of checks and balances designed to prevent and detect errors and fraud. It includes procedures for authorizing transactions, recording transactions, and reviewing transactions. Internal control is essential for the accuracy and reliability of financial reporting.

「事故調査委員会の技術的所見」の記載内容と記入上の注意事項

- ・ 工事名 : 工事の発注件名を記入します。
- ・ 事故発生年月日 : 事故発生日時を記入します。
- ・ 事故発生要因の技術的所見 : 作業環境面から見た場合、安全管理上から見た場合、施工方法等の面から見た場合の、それぞれの所見を記入します。
- ・ その他の再発防止に向けての検討事項 : 当該事故の再発防止に向けてどのような検討を行う必要があるかを記入します。

平成 年度 事故報告書【発注者用】

【事故調査委員会の技術的所見】

事故発生日 (時間は24時間表示)		日()年()月()日()曜日()時()分預	作成年月日: 日()年()月()日
事故発生原因の技術的所見 (作業手順、安全管理、施工方法等)			
関連する基準類			
関連する基準事項			
その他再発防止に向けての検討事項			
事故調査委員会の技術的所見			

大臣・知事コード一覧表

コード	知事	コード	知事
00	建部大臣	24	三瓶県知事
01	滋賀県知事	25	滋賀県知事
02	静冈県知事	26	京都府知事
03	岩手県知事	27	大阪府知事
04	岩手県知事	28	兵庫県知事
05	秋田県知事	29	奈良県知事
06	山形県知事	30	和歌山県知事
07	福島県知事	31	鳥取県知事
08	茨城県知事	32	島根県知事
09	栃水県知事	33	岡山県知事
10	群馬県知事	34	広島県知事
11	埼玉県知事	35	山口県知事
12	千葉県知事	36	徳島県知事
13	東京都知事	37	香川県知事
14	神奈川県知事	38	愛媛県知事
15	新潟県知事	39	高知県知事
16	富山県知事	40	福岡県知事
17	石川県知事	41	佐賀県知事
18	福井県知事	42	長崎県知事
19	山梨県知事	43	熊本県知事
20	長野県知事	44	大分県知事
21	岐阜県知事	45	宮崎県知事
22	静岡県知事	46	鹿児島県知事
23	愛知県知事	47	沖縄県知事

北海道知事

コード	知事
80	石狩支庁
81	渡島支庁
82	釧路支庁
83	後志支庁
84	空知支庁
85	上川支庁
86	留萌支庁
87	宗谷支庁
88	網走支庁
89	胆振支庁
90	日高支庁
91	十勝支庁
92	釧路支庁
93	根室支庁

事故発生場所都道府県コード表(表9)

コード	都道府県名	コード	都道府県名
01	北海道	25	滋賀
02	青森	26	京都
03	岩手	27	大阪
04	宮城	28	兵庫
05	秋田	29	奈良
06	山形	30	和歌山
07	福島	31	鳥取
08	茨城	32	島根
09	栃木	33	岡山
10	群馬	34	広島
11	埼玉	35	山口
12	千葉	36	徳島
13	東京	37	香川
14	神奈川	38	愛媛
15	新潟	39	高知
16	富山	40	福岡
17	石川	41	佐賀
18	福井	42	長崎
19	山梨	43	熊本
20	長野	44	大分
21	岐阜	45	宮崎
22	静岡	46	鹿児島
23	愛知	47	沖縄
24	三重		

事故報告書の記入コード表（発注者用）

工事分野、工事の種類、工種、工法・型式等（表1）（2/6）

分野	工事の種類	工種	工法・型式等	工事の内容	工事の例示	
1. 河川 2. 道路 3. 砂防・地滑り 4. 上水・工業用水 5. 下水道 6. 産業農村整備 7. 鉄道・軌道 8. 発電 9. 空港 10. 沿岸 11. 港湾 12. 海洋 13. その他の河川 14. 造船 15. 産業建築物 16. 建築 17. 機械 18. 電気 19. 通信 99. その他	25. 港湾・空港・海洋埋立工事	25	351)外かく施設、352)保固施設、353)プレキャスト部材製作、354)海洋埋立	港灣・通渠・空港の防波堤、護岸、防波堤、水門・閘門、突堤、ケーソン等の係留施設、ケーソン製作及び海洋埋立を行う工事	第1種防波堤工事、護岸形式防波堤工事、ドルフィンドックのケーソン製作工事、堤土船による埋立工事、空港埋立工事	
		26	360)	岸壁上に石油利用のプラットフォーム、ケーバス、プラットフォーム、石油保管施設を築造する工事、又はマリナー、産卵場、人工島礁等を築造する工事	石油利用のプラットフォーム、石油保管施設を築造する工事、マリナー、産卵場、人工島礁工事	石油埋立用プラットフォーム建設工事、石油埋立用プラットフォーム建設工事、シーバース建設工事、海上プラットフォーム工事、海上石油保管施設建設工事、マリナー建設工事、海洋産卵場建設工事、海洋人工島礁建設工事
		27. その他のライライン工事	370)	ガス供給施設、熱供給施設、石油供給施設、LNG供給施設	左記の施設のガス貯蔵施設、燃生炉プラットフォーム、石油貯蔵タンク、LNGの生産設備、輸送設備、貯蔵タンクを築造する工事	ガス貯蔵施設工事、燃生炉プラットフォーム建設工事、石油貯蔵タンク建設工事、石油供給施設工事、石油供給施設工事、石油貯蔵タンク建設工事、LNG貯蔵施設工事、LNG輸送設備工事、LNG貯蔵タンク建設工事
2. 建築一式 建築物を一式建設する工事	31. 建築一式工事	31	331)中間処理工、332)腐食処分場工	中間処理、汚泥処理施設、石油貯蔵タンク、腐食処分場等の施設を築造する工事（ただし、汚泥処理場を除く）	中間処理、汚泥処理施設工事、石油貯蔵タンク建設工事、腐食処分場建設工事	
		32. その他建築工事	320)	PC・タンク・サイロの一式工事（鋼製、工種以外の土木工作物の一式工次	PC・タンク工事、サイロ工事	
		33. 建物関連工事	330)	基礎、基礎、本体、仕上り工事を施工する建築一式工事（建築設備工事も含む場合を含む）	建築一式工事、河川改修工事、農道工事、林道工事	
3. 建物関連 大工、左官、屋根等の建物関連工事	32. その他建築工事	32	411)建築一式工(0)、412)建築一式工(0)	木柱の加工又は取り付けにより工作物を築造し、または工作物に木製設備を取付ける工事	各層工事、鉄骨鉄筋コンクリート工、プレキャストコンクリート工事等	
		33	木工、左官工、屋根工、内装仕上工、建具工、電気工、ガス工、その他	木柱の加工又は取り付けにより工作物を築造し、または工作物に木製設備を取付ける工事、モルタル、しっくい、プラステック等による塗り、吹付け、又は張付け等の左官工事、金属薄板等により屋根を施工する工事、又は建具に工作物を取り付ける建具工事	左官工事、とぎ出し工事、吹付け工事、モルタル左官工事、ラス張り工事、乾式壁工事、防水モルタル工	
		34	木工、左官工、屋根工、内装仕上工、建具工、電気工、ガス工、その他	木柱の加工又は取り付けにより工作物を築造し、または工作物に木製設備を取付ける工事、木製又は金属製の建具等を取付ける工事	突井仕上工事、壁張り工事、内装間仕切り工事、インテリア工事	
3. 建物関連 大工、左官、屋根等の建物関連工事	33. 建物関連工事	33	金属板等を加工して工作物に取付け、又は工作物に金属製の付属物を取付ける工事	金属板等を加工して工作物に取付け、又は工作物に金属製の付属物を取付ける工事	金属製建具取付け工事、サッシ取付け工事、金属製カーテンウォール取付け工事、シャッター取付け工事、自動ドア取付け工事、木製建具取付け工事、ぶすま工事	
		34	金属加工取付工事、屋根かさり工事	金属加工取付工事、屋根かさり工事	金属加工取付工事、屋根かさり工事	
		35	ガラス加工取付工事	ガラス加工取付工事	ガラス加工取付工事	

事故報告書の記入コード表 (発注者用)

工事分野、工事の種類、工種、工法形式番号コード (表1) (3/6)

(表1a) 分野		(表1b) 工事の種類		(表1c) 工種		工法・型式等		工事の内容		工事の例示	
1. 河川	4. 土石工・コンクリート	34. 軟弱地盤処理工事	013	011 掘削	[012] プレローディング、[019] 表層処理	軟弱地盤を露出させたり、軟弱地盤に石灰等を混合し、ドレーン、ドレーンにより圧密工を実施する等して、地盤を改良する工事	軟弱地盤掘削工事、サンドコンパクション工事、深層混合処理工事				
2. 道路	5. 土工	35. 軟弱地盤グラウト工事	016 020	016 掘削 020 圧入	[017] バイロフォーターション、[018] ロックコンパクション、[017] バイロフォーターション、[018] ロックコンパクション、[019] 表層処理	軟弱地盤にポーリングを行い、セメント等のグラウト材を注入して地盤を改良する工事	軟弱地盤薬液注工				
3. 防砂・地滑り	6. 土工	36. ポーリンググラウト工事	019	019 掘削	[019] 表層処理	地盤中の軟弱地盤等にセメントを注入し、セメントの圧入により地盤を改良する工事	ダム基礎止水グラウト工事、トンネル地山水グラウト工事				
4. 上水・工業用水	7. 土工	37. 土留め、圧密切工工事 (土留め、圧密切工工事を除く)	040	040 掘削	[040] 土留め、圧密切工工事	地盤中の軟弱地盤等にセメントを注入し、セメントの圧入により地盤を改良する工事	ダム基礎止水グラウト工事、トンネル地山水グラウト工事				
5. 下水道	8. 土工	38. 軟弱地盤グラウト工事	045	045 掘削	[045] 軟弱地盤グラウト工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
6. 農業農村整備	9. 土工	39. 軟弱地盤グラウト工事	024	024 掘削	[024] 軟弱地盤グラウト工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
7. 鉄道・軌道	10. 土工	40. 現場打撃等工事	025	025 掘削	[025] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
8. 発電	11. 土工	41. 地中連続壁工事	026	026 掘削	[026] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
9. 空港	12. 土工	42. 土工	027	027 掘削	[027] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
10. 海洋	13. その他	43. 法面工事	028	028 掘削	[028] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
11. 港湾	14. 造園	44. 落石防止工事	029	029 掘削	[029] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
12. 海洋	15. 産業廃棄物	45. なたれ防止工事	030	030 掘削	[030] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
13. その他	16. 建築	46. その他のどび・土工・コンクリート工事 (他のどび・土工・コンクリート工事を除く)	031	031 掘削	[031] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
14. 造園	17. 機械	47. 構造補修工事	032	032 掘削	[032] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
15. 産業廃棄物	18. 電気	48. 遺留物掘削工事	033	033 掘削	[033] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
16. 建築	19. 通信	49. 道路掘削作業	034	034 掘削	[034] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
17. 機械	99. その他		035	035 掘削	[035] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
18. 電気			036	036 掘削	[036] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
19. 通信			037	037 掘削	[037] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				
99. その他			038	038 掘削	[038] 現場打撃等工事	軟弱地盤を改良する工事	軟弱地盤改良工				

事故報告書の記入コード表 (発注者用)

工事分野, 工事の種類, 工種, 工法形式番号コード (表1) (4/6)

分 野
1. 河川
2. 道路
3. 防防・油濁り
4. 上水・工業用水
5. 下水処理
6. 農業農村整備
7. 鉄道・軌道
8. 発電
9. 空港
10. 海岸
11. 港湾
12. 海洋
13. その他(河川)
14. 港 湾 (含組組設を含む)
15. 産業廃棄物
16. 建築
17. 機械
18. 運 送
19. 通 信
99. その他

(表1a)	(表1c)	工 事 の 種 類	工 法 ・ 型 式 等	工 事 の 内 容	工 事 の 例 示
5. 石	59	50. 石工事		石材(石材)を除くコンクリートブロックを含む)の加工又は積立により工作物を築造し、又は工作物の石取得付ける工事	石積み石張り工事, 石削加工工事
6. 電気	58	51. 電気工事	総合電気設備 送配電設備 選別電圧の 10 送配電設備 選別電圧の 20~27 送配電設備 選別電圧の 40~47 送配電設備 選別電圧の 50~53 送配電設備 選別電圧の 60 送配電設備 その他 送配電設備の 70, 71	架線設備 (非常用予備架線装置を含む) 電気設備等の総合的に電気工 事に係る架線工事, 架線設備工事等 送配電設備 (非常用予備架線装置を含む) 架線設備工事, 架線設備工事等 架線設備工事, 架線設備工事 送配電設備等の電気工作物を建設する送 配電設備工事 架線設備, 送配電設備等の電気工作物を設 置する電気設備工事 交通信号機等の電気工作物を建設する電 気設備 特殊の電気設備一式工事	総合電気設備工事, 上水道電気設備工 事, 下水道電気設備工事 架線設備工事, 架線設備工事, 送配電設 備工事, 送配電設備工事, 架線設備工事 送配電設備工事, 架線設備工事, 架線設備工 事, 架線設備工事, 送配電設備工事, 架線設備工 事, 送配電設備工事, 架線設備工事, 架線設備工 事, 架線設備工事 (非常用予備架線装置を含む) 工事, 架線設備工事, ネオン架線工事, 架線設 備工事, 架線設備工事 交通信号機工事, 鉄道信号機設備工事 特殊総合電気設備工事, 建築電力設備工 事, 建築電気設備工事 電気設備工事 給排水設備工事, 給排水設備工事, 排水水 レック設備工事, 衛生器具設備工事, 給 水・貯水・貯湯タンク設備工事, 厨房設 備工事, ガス・水道管工事, 冷庫・冷蔵 庫工事, 都市ガス設備工事, 炭化石油効 率設備工事, ガス貯留設備工事 空調設備工事, 冷暖房設備工事, ポイフ イスト設備工事, 換気設備工事, 空 調設備工事, 換気設備工事, 送配電設備工 事, オイルタンク設備工事, 送配電設備工 事, 空調用ポンプ設備工事, 冷却設備工 事, 換気設備工事, 排煙設備工事, 自動制御 設備工事 し尿処理設備工事, 汚物浄化槽工事 下水管内更張工事, 上水管内配管工事, 下水管内配管工事, 管線交換工事, 高圧ガ ス配管工事
7. 管	510	52. 給排水衛生設備工事		上記以外の電気工事 方丈設備, 給排水設備, 衛生設備の設置 又冷媒水、ガス、水蒸気等の管を送配する 配管工事	
	520	53. 高層部空調設備工事		送風機, 空調等のための施設を設置する 工事	
	530	54. 浄化槽設備工事	(浄化槽設備工, その他配工)	浄化槽を設置する浄化槽設備工事 上記以外の管工事	
	540	55. タイル・れんが・ブロック工事		建築用コンクリートブロック等により工 作物を築造し、又は工作物にれんが、コ ンクリートブロック、タイル等を取付け、 又ははり付ける工事	建築用コンクリートブロック積み張り 工事, れんが積み張り工事, タイル張り工 事, 建築工事, 石積みスレート張り工事
	550	56. 鉄骨・鉄塔・煙突工事	(鉄骨加工・組立・鉄塔・鋼製煙突)	鋼骨の加工又は組上げにより鉄骨を築造 する鉄骨工事 鋼骨組立工事 鋼骨組立工に鉄骨組立工事 鋼骨組立工に鉄骨組立工 その他	鉄骨組立工事 鉄骨工事, 鋼製煙突工事
	560	57. 鋼製組架工事		鋼骨の加工又は組上げにより、鋼製組架 を築造する工事	鋼製組架工事
	570	58. 鋼骨組立工事	新行機、吊杆機、トラス、アーチ橋、ラウ マン橋、架線機、吊橋、その他	鋼骨の加工又は組上げにより橋梁上部 工を築造する工事	鋼骨組立工事 水面側製作工事, 鋼骨自動組立工事, 非骨 水面側製作工事, 鋼骨吐き出しケーシング工 事, 鋼骨吐き出しケーシング製作・組立工事, 発電 用水生養管吊掛工事
	580	59. 水門扇等工事	[56] 河川用水門扇工、[65] 2人用水門扇工、 [66] 扇門・橋脚扇工		
	590				

事故報告書の記入コード表（※注者用）

工事分野、工事の種類、工種、工法形式番号コード（表1）（5/6）

(表1a)		(表1c)		(表1b)	
分野	工種	工事の種類	工法・型式等	工事の内容	工事の例示
1. 河川	60. プール・水櫃・タンク等工事	60	鋼製プール、水櫃・タンク等工、ステンレス製プール等工	鋼材の加工又は組上げにより、プール、水櫃、貯蔵タンク、バックネット等を築造する鋼製プール、水櫃・タンク等工事	鋼製プール工事、鋼製水櫃工事、鋼製貯蔵タンク工事、バックネット工事
2. 道路	61. 原形工事	61		ステンレス材の加工、組上げによりプール等を築造するステンレス製プール工事	ステンレス製プール工事
3. 砂防・地滑り	62. アスファルト舗装工事	62	アスファルト、リベーン、リミックス、再生、加熱混合所、フレッドアスファルト、ロードアスファルト、フォームド、グース・半たわみ、透水性、明色、着色、ホワイトベース、改質アスファルト、排水性、新面、その他	種々の鋼材を加工し、接合し、又は組み立てる原形工事	鉄筋加工組立て工事、ガス圧接工事
4. 上水・工業用水	63. セメント・コンクリート舗装工事	63	コンクリート、速乾鉄筋コンクリート、繊維補強コンクリート、プレストレストコンクリート、軽圧コンクリート、プレキャスト版、コンクリート、その他	選好等の地面面をアスファルトにより舗装する工事	アスファルト舗装工事、透水圧接接工事
5. 下水道	64. 歩行帯系舗装、高強度歩道工事	64	歩行帯等の地面面をコンクリートブロック等に鋪設する工事	歩行帯等の地面面をコンクリートブロック等に鋪設する工事	コンクリート舗装工事、繊維補強コンクリート舗装工事
6. 農業農村整備	65. 放流工事	65	河川、湖沼等の水深の土砂、汚泥等をしゅんせつ船等を用いて除去、搬出する工事	河川、湖沼等の水深の土砂、汚泥等をしゅんせつ船等を用いて除去、搬出する工事	放流工事（しゅんせつ船等によるもの）
7. 鉄道・軌道	66. 塗装工事	66	塗料、塗材等を工作物に吹付け、又は塗る工事	塗料、塗材等を工作物に吹付け、又は塗る工事	塗装工事
8. 発電	67. 防水工事	67	アスファルト、モルタル、目地材等による防水を行う工事	アスファルト、モルタル、目地材等による防水を行う工事	防水工事
9. 空港	68. 機械器具設置工事	68	[62] 施工設備工、[62] ボンプ設備工、[62] トンネル換気設備工、[62] トンネル非常用設備工、[62] コンクリート打設、運搬処理、コンクリート作卸等の施工設備の組立て、取付けを行う工事	骨材製造・運搬、コンクリート製造・運搬、コンクリート打設、運搬処理、コンクリート作卸等の施工設備の組立て、取付けを行う工事	骨材製造設備組立取付工事、コンクリート製造設備組立取付工事、ケール組立取付工事、骨材貯留設備組立取付工事、コンクリート冷却設備組立取付工事、コンクリート冷却設備組立取付工事
10. 海洋	12. 放流	12		鋼接ボンプ設備のボンプ、配置、取付けの組立て、取付けを行う鋼接ボンプ設備工事	排水ボンプ設備工事、排水機設備ボンプ取付工事
11. 港湾	13. 塗装	13		トンネル換気設備の組立て、取付けを行う工事	トンネル換気設備工事
12. 海洋	14. 防水	14		溶化熱等のトンネル非常用設備を設置する工事	トンネル溶化熱設備工事
13. その他の(7474)	15. 機械器具設置	15	[62] 施工設備工、[62] ボンプ設備工、[62] トンネル換気設備工、[62] トンネル非常用設備工、[62] コンクリート打設、運搬処理、コンクリート作卸等の施工設備の組立て、取付けを行う工事	鋼接ボンプ設備のボンプ、配置、取付けの組立て、取付けを行う鋼接ボンプ設備工事	鋼接ボンプ設備工事、排水機設備ボンプ取付工事
14. 堤防	16. 熱絶縁	16		冷間設備、動力設備、化学工業に用いる等の配管、ダクト類及び工作物を熱絶縁する工事	冷間設備工事、動力設備工事、化学工業設備工事、冷間設備工事、冷間設備工事、冷間設備工事、冷間設備工事、冷間設備工事、冷間設備工事
15. 産業廃棄物					
16. 建築					
17. 機械					
18. 電気					
19. 通信					
99. その他					

工事分野、工事の種類、工種、工法形式番号コード表(表1)(8/6)

分野	工事の種類	工種	工法・型式等	工事の内容	工事の例示
1. 河川	17.電気通配	70.電気通配工事	電気通配設備・架設工、放送機設置工、データ通信設備工、電子計算機設置工、その他〔電気通配工〕	電気通配施設設備、又は電気通配機材を架設する工事	電気通配施設設備工事、電気通配機材架設工事、施設設備設置工事、通信ケーブル敷設工事
2. 道路				放送機材設備、又は空中線設備を設置する工事	放送機材設置工事、空中線設備工事、共同アンテナ工事
3. 砂防・地滑り				データ通信設備の設置工事	データ通信設備工事、データ処理設備工事、テレメータ設備工事、レーダー工事
4. 上水・工業用水				電子計算機の設置工事	電子計算機設置工事
5. 下水道				上記以外の電気通配工事	計測機材設置工事
6. 農業農村整備	18.道 路	71.道標工事 (余程施設を含む)	(道標、公団設備、グラウト等整備等、余程施設)	駅地、駅本の積載、乗石等の工事付け等により駅舎などの地味を築造する道標工事	駅構内工事、地設工事、築石工事、雨ごしらえ工事、修繕工事
7. 鉄道・軌道				公園、緑地等を整備する公園設備工事	公園設備工事
8. 発電				グラウンドの造成設備、ネットフェンス類の築造のグラウンド等整備工事	運動場設備工事、競技場設備工事、ネットフェンス工事
9. 空港				ゴルフ場、レジャーランド、競馬場等を築造する余程施設工事	ゴルフ場工事、レジャーランド工事、競馬場工事
10. 海岸				さく井掘削等を併用してさく孔、さく井、埋戻し等を行う工事	さく井工事、掘削工事、埋戻し工事、さく井掘削工事、改井戸築造工事、さく井工事
11. 港湾	19.さく井	72.さく井工事	(さく井工、揚水設備工)	揚水設備の設置を行う工事	取水設備工事、ポンプ設置工事
12. 海洋				土木、機械、電気を含む取水、浄水、配水の総合施設工事	取水設備工事、浄水施設工事、配水施設工事
13. その他の(河川)	20.水道施設	73.上水・工業用水道工事	(68)日取水総合施設工、(682)浄水総合施設工、(683)配水総合施設工	土木、機械、電気を含む下水道処理設備工事	下水処理施設工事
14. 造 園 (余程施設を含む)				消火設備、消防設備、不燃性ガス設備設置、防熱消火設備、火災警報設備、避難設備、排煙設備、その他消防設備	屋内用消防設備工事、スプリンクラー設備工事、屋外用消防設備工事、動力用消防設備工事、池用消防設備工事、不燃性ガス設備工事、茶室性液体設備工事、粉末消火設備工事、火災検知設備工事、消火設備工事、火災警報設備工事、非常警報設備工事、金属性避難はしご、救助栓、排煙設備工事
15. 産業建築物				(ごみ処理施設、し尿処理施設)	ごみ処理施設工事、し尿処理施設工事
16. 住 宅				ごみ処理施設、し尿処理施設を設置する工事	備後打撃工事、備後防犯工事、道路(堤防)除雪工事、備後日地補修工事、路面切削工事、堤防災害補修工事、建築補修工事
17. 機 械					
18. 電 気					
19. 通 信					
99. その他					
	21.消防施設	75.消防施設工事			
	22.清掃施設	76.清掃施設工事			
	23.維持修繕	77.維持修繕工事			

事故報告書の記入コード表〔発注者用〕

発注者コード表(表2)

都道府県別(表2)		都道府県名		都道府県名	
コード	都道府県名	コード	都道府県名	コード	都道府県名
01	北海道	25	岐阜		
02	青森	26	京都		
03	岩手	27	大阪		
04	宮城	28	兵庫		
05	秋田	29	奈良		
06	山形	30	和歌山		
07	福島	31	鳥取		
08	茨城	32	島根		
09	栃木	33	岡山		
10	群馬	34	広島		
11	埼玉	35	山口		
12	千葉	36	徳島		
13	東京	37	香川		
14	神奈川	38	愛媛		
15	新潟	39	高知		
16	富山	40	福岡		
17	石川	41	佐賀		
18	福井	42	長崎		
19	山梨	43	熊本		
20	長野	44	大分		
21	岐阜	45	宮崎		
22	静岡	46	鹿児島		
23	愛知	47	沖縄		
24	三重				

政令指定都市別(表2)

コード	都道府県名	コード	都市名
101	札幌	107	大阪
102	仙台	108	京都
103	千葉	109	神戸
104	川崎	110	広島
105	横浜	111	北九州
106	名古屋	112	福岡

記入例(神奈川県庁の場合)

神奈川県〇部 -

記入例(仙台市役所の場合)

仙台市役所〇課 -

事故報告書の記入コード表（発注者用）

発注者コード表（表2）

※コードは使用しないこと

記入例（四国監理局香川工事事務所の場合）

四国監理局香川工事事務所	6	8	1	4
--------------	---	---	---	---

国(道標)	コード	事務所名	国(道標)	コード	事務所名	国(道標)	コード	事務所名
本 省 (80)	21	富田技術管理室	東 北 (82)	61	月山ダム工事事務所	東 (83)	51	江川川工事事務所
	22	泉波研究字(廣瀬町)建設管理セ ク		62	長井ダム工事事務所		52	香川国道工事事務所
北 海 道 開 発 局 (81)	20	本局	北 陸 (84)	53	千歳国道工事事務所	中 部 (85)	29	本局
	21	札幌開発建設部		54	三枝ダム管理所		30	多治見工事事務所
	22	小樽開発建設部		55	三枝ダム管理所		31	本郷川上流工事事務所
	23	函館開発建設部		56	野田川工事事務所		32	細野川上流工事事務所
	24	室蘭開発建設部		57	磐城国道工事事務所		33	岐阜国道工事事務所
	25	旭川開発建設部		58	磐城国道工事事務所		34	高山国道工事事務所
	26	留萌開発建設部		59	北山川ダム統合管理事務所		35	新大川ダム工事事務所
	27	稚内開発建設部		60	北山川ダム管理所		36	小里川ダム工事事務所
	28	網走開発建設部		61	七ヶ宿ダム管理所		37	株山ダム工事事務所
	29	津別開発建設部		62	七ヶ宿ダム管理所		38	精興河川工事事務所
東 北 (82)	31	釧路開発建設部	北 陸 (84)	63	白川ダム管理所	中 部 (85)	39	沼津工事事務所
	32	石狩川開発建設部		64	赤松川ダム管理所		40	精興河川工事事務所
	33	高瀬川総合開発工事事務所		65	赤松川ダム管理所		41	精興河川工事事務所
	34	根釧川工事事務所		66	玉川ダム管理所		42	沼津工事事務所
	35	岩手工事事務所		67	七ヶ宿ダム管理所		43	富士物産工事事務所
	36	三陸国道工事事務所		68	七ヶ宿ダム管理所		44	道後川工事事務所
	37	三陸国道工事事務所		69	七ヶ宿ダム管理所		45	長崎川工事事務所
	38	胆振ダム工事事務所		70	七ヶ宿ダム管理所		46	長崎川工事事務所
	39	胆振ダム工事事務所		71	七ヶ宿ダム管理所		47	長崎川工事事務所
	40	胆振ダム工事事務所		72	七ヶ宿ダム管理所		48	長崎川工事事務所
東 北 (83)	41	胆振川総合開発工事事務所	北 陸 (84)	73	七ヶ宿ダム管理所	中 部 (85)	49	磐城国道工事事務所
	42	胆振川総合開発工事事務所		74	七ヶ宿ダム管理所		50	磐城国道工事事務所
	43	胆振川総合開発工事事務所		75	七ヶ宿ダム管理所		51	磐城国道工事事務所
	44	胆振川総合開発工事事務所		76	七ヶ宿ダム管理所		52	磐城国道工事事務所
	45	胆振川総合開発工事事務所		77	七ヶ宿ダム管理所		53	磐城国道工事事務所
	46	胆振川総合開発工事事務所		78	七ヶ宿ダム管理所		54	磐城国道工事事務所
	47	胆振川総合開発工事事務所		79	七ヶ宿ダム管理所			
	48	胆振川総合開発工事事務所		80	七ヶ宿ダム管理所			
	49	胆振川総合開発工事事務所		81	七ヶ宿ダム管理所			
	50	胆振川総合開発工事事務所		82	七ヶ宿ダム管理所			
東 北 (84)	51	胆振川総合開発工事事務所	北 陸 (84)	83	七ヶ宿ダム管理所	中 部 (85)	55	磐城国道工事事務所
	52	胆振川総合開発工事事務所		84	七ヶ宿ダム管理所		56	磐城国道工事事務所
	53	胆振川総合開発工事事務所		85	七ヶ宿ダム管理所		57	磐城国道工事事務所
	54	胆振川総合開発工事事務所		86	七ヶ宿ダム管理所		58	磐城国道工事事務所
	55	胆振川総合開発工事事務所		87	七ヶ宿ダム管理所		59	磐城国道工事事務所
	56	胆振川総合開発工事事務所		88	七ヶ宿ダム管理所		60	磐城国道工事事務所
	57	胆振川総合開発工事事務所		89	七ヶ宿ダム管理所		61	磐城国道工事事務所
	58	胆振川総合開発工事事務所		90	七ヶ宿ダム管理所		62	磐城国道工事事務所
	59	胆振川総合開発工事事務所		91	七ヶ宿ダム管理所		63	磐城国道工事事務所
	60	胆振川総合開発工事事務所		92	七ヶ宿ダム管理所		64	磐城国道工事事務所
東 北 (85)	61	胆振川総合開発工事事務所	北 陸 (84)	93	七ヶ宿ダム管理所	中 部 (85)	65	磐城国道工事事務所
	62	胆振川総合開発工事事務所		94	七ヶ宿ダム管理所		66	磐城国道工事事務所
	63	胆振川総合開発工事事務所		95	七ヶ宿ダム管理所		67	磐城国道工事事務所
	64	胆振川総合開発工事事務所		96	七ヶ宿ダム管理所		68	磐城国道工事事務所
	65	胆振川総合開発工事事務所		97	七ヶ宿ダム管理所		69	磐城国道工事事務所
	66	胆振川総合開発工事事務所		98	七ヶ宿ダム管理所		70	磐城国道工事事務所
	67	胆振川総合開発工事事務所		99	七ヶ宿ダム管理所		71	磐城国道工事事務所
	68	胆振川総合開発工事事務所		100	七ヶ宿ダム管理所		72	磐城国道工事事務所
	69	胆振川総合開発工事事務所					73	磐城国道工事事務所
	70	胆振川総合開発工事事務所					74	磐城国道工事事務所

※コードは併用しないこと

記入例(四国整備備局香川工事事務所の場合)

四国整備備局香川工事事務所	4
	1

国(道標)コード	品	国(道標)コード	事務所名	国(道標)コード	事務所名	国(道標)コード	事務所名	国(道標)コード	事務所名		
中 (85)	55	東条夕人調査事務所	70	福井工事事務所	中 (87)	91	山口営業工事事務所	九 (89)	50	熊本工事事務所	
	56	東海幹線道路調査事務所	71	足見川夕人調査事務所		92	宮内町高松分室		51	八代工事事務所	
	60	三重工事事務所	73	木津川上流工事事務所		93	営業監査室		52	八代川工事事務所	
	61	木曾川下流工事事務所	75	津川夕人総合管理事務所				53	新加川工事事務所		
	64	紀伊国道工事事務所	76	紀伊国道工事事務所				54	東野夕人工事事務所		
	65	北勢国道工事事務所	78	九頭川夕人総合管理事務所				55	立野夕人工事事務所		
	70	五竜川上流工事事務所	85	近畿連絡事務所				60	大分工事事務所		
	71	紀伊国道工事事務所	87	飛鳥国名公園出張所		四 (88)	29	本局		61	佐伯工事事務所
	72	三輪川総合開発工事事務所	88	四国野分合設公園工事事務所			30	徳島工事事務所	63	矢野夕人調査事務所	
	75	天竜川夕人総合管理事務所	90	京都宮橋工事事務所			31	香川川防犯工事事務所	65	高松工事事務所	
	76	丸山夕人管理所	91	神戸宮橋工事事務所	32		細川夕人工事事務所	66	延岡工事事務所		
	78	矢作夕人管理所	99	宮橋監査室	33		那賀川工事事務所	70	川内川工事事務所		
	79	粟夕人管理所			34		四国山地防犯工事事務所	71	大原川工事事務所		
	85	中根技術事務所			40		香川工事事務所	72	徳島国道工事事務所		
	90	静岡宮橋工事事務所			50		松山工事事務所	75	徳島川夕人管理所		
	91	宮橋監査室			51		大洲工事事務所	76	坂形夕人総合管理事務所		
					55		山形坂夕人工事事務所	77	坂形夕人管理所		
	近 (86)	29	本局	29	本局	中 (87)	61	南和工事事務所		79	熊本夕人管理所
		30	高取工事事務所	30	高取工事事務所		62	中村工事事務所	80	山田川夕人 離統合管理事務所	
		31	高宮工事事務所	31	高宮工事事務所		64	土佐国道工事事務所	85	九州技術事務所	
		32	熊夕人工事事務所	32	熊夕人工事事務所		65	中筋川総合開発工事事務所	87	徳の中道南底公園工事事務所	
33		日野川工事事務所	35	松江国道工事事務所	75		吉野川夕人総合管理事務所	88	国吉野夕人歴史公園工事事務所		
36		出雲工事事務所	36	出雲工事事務所	76		野村夕人管理所	91	長崎港湾工事事務所		
32		越前川工事事務所	37	浜田工事事務所	77		大瀬夕人管理所	92	熊本港湾工事事務所		
33		男生夕人工事事務所	38	錦川 神尾川合設工務課	85		国府技術事務所	93	徳島港湾工事事務所		
35		福知山工事事務所	40	岡山川工事事務所	87		国府橋まわりの公園工事事務所	94	宮橋監査室		
36		赤穂国道工事事務所	41	岩田夕人工事事務所							
40		徳川工事事務所	42	岡山国道工事事務所							
41		大和川工事事務所	50	福川工事事務所							
42		大瀬国道工事事務所	51	八田夕人管理所							
43		阪道国道工事事務所	52	三次工事事務所							
44		彦名川工事事務所	53	太田川工事事務所	九 (89)	29	本局	神備総合 事務所 (90)	29	本局	
45		彦名川総合開発工事事務所	54	江川の川総合開発工事事務所		30	坂元川工事事務所		30	北部分人総合管理事務所	
46		近畿幹線道路調査事務所	55	五島国道工事事務所		31	浪瀬川工事事務所		32	北郡国道事務所	
51		坂崎工事事務所	56	温井夕人工事事務所		32	福岡国道工事事務所		33	福岡国道事務所	
52		大甲の崎工業事務所	60	山口幹線道路調査事務所		33	北九州国道事務所		34	国府神備記念公園事務所	
53		兵庫国道工事事務所	63	山口幹線道路調査事務所		34	九州幹線道路調査事務所		90	宮橋監査室	
54		阪神国道工事事務所	75	宮沢夕人管理所		35	武雄工事事務所				
60	大瀬夕人工事事務所	76	土師夕人管理所	37		佐賀国道総合開発工事事務所					
61	奈良国道工事事務所	77	弥生夕人管理所	38		佐賀国道工事事務所					
65	和歌山工事事務所	85	和歌山工事事務所	45		長瀬川夕人工事事務所					
66	和南工事事務所	87	国営備北丘陵公園工事事務所	46	長崎工事事務所						
67	紀伊丹生夕人調査事務所	90	岡山宮橋工事事務所								

事故報告書の記入コード表 [発注者用]

発注者コード表(表2)

※コードは使用しない事

公団・事業団用		日本道路公団		首都高速道路公団		阪神高速道路公団		水州四国連絡橋公団		水資源開発公団		地域開発整備公団		日本下水道事業団	
52	都市基盤整備公団	43	日本道路公団	44	首都高速道路公団	45	阪神高速道路公団	49	水州四国連絡橋公団	41	水資源開発公団	50	地域開発整備公団	59	日本下水道事業団
01	本社	63	総合研究所	01	本所	01	本所	01	本社	01	本社	01	本所	01	本社
02	住宅都市計画研究所	64	北陸支社	11	第一建設局	11	大阪第一建設部	10	第一建設局	10	中部支社	04	都市整備事業部	10	東京支社
04	住宅産業センター	65	中部支社	12	第二建設局	12	大阪第二建設部	20	第二建設局	20	関西支社	05	工業所配置事業部	20	大阪支社
05	公園事務所	66	関西支社	13	第三建設局	13	大阪第三建設部	30	第三建設局	30	吉野川開発局	06	運送地域開発事業部	06	
10	東京支社	67	九州支社	20	津井橋建設局	20	神戸第一建設部	20	神戸第一建設部	20	筑後川開発局	08	地域拠点開発部	08	
20	関西支社	68	東京建設局	30	神奈川建設局	30	神戸第二建設部	21	神戸第二建設部	21	筑後川開発局	09	地域拠点開発部	09	
30	中部支社			51	東京第一管理部	51	東京第一管理部	22	神戸緑後旧建設部	22		60	九州支節※		
40	関西支社			52	東京第二管理部	52	東京第二管理部	30	京都建設事業所	30					
50	九州支社			53	東京保全部	53	東京保全部	50	大阪管理部	50					
11	首都圏都市開発本部			60	神奈川管理部	60	神奈川管理部	51	埼玉管理部	51					
12	つくば開発局			61	駐車場管理部	61	駐車場管理部	52	神戸管理部	52					
13	千葉開発局														
14	南多摩開発局														
15	港北開発局														
21	多摩ニュータウン事業本部														
22	千葉開発支社														
23	千葉ニュータウン事業本部														
24	神奈川開発支社														
25	埼玉地域支社														
26	茨城地域支社														
41	震災復興事業本部														
42	関西文化芸術研究所 市事業本部														

事故報告書の記入コード表（発注者用）

事故分類コード表（表3）

事故分類	コード	事故種別	事故分類	コード	事故種別	事故分類	コード	事故種別	事故分類	コード	事故種別	
1. 墜落	01	足場から	4. 土砂崩壊	01	土砂崩壊	11. 取扱運搬等	01	稀釈し作業中	12. 工具等取り扱い	01	稀釈し作業中	
	02	架設道路から		02	岩石の崩壊・崩落		02	重物の取扱中				
	03	歩み板から		01	落盤、肌落ち		03	機械の調整中				
	04	踊り場から		02	浮石の落下		99	その他				
	05	梯子から		03	切羽の崩壊		01	降着用カッター等				
	06	脚立、うまから		01	ケーブルクレーン乗道等		02	チェーンソー等				
	07	スレート、波板等の踏み抜き		02	テリツク		03	コンクリートブレードカー等				
	08	梁、屋根、屋上から		03	移動式クレーン		04	ドリル・削岩機等				
	09	梁、窓扉から		04	天井走行クレーン、その他のクレーン		05	ガス溶接・切断等				
	10	梁、階段、開口部、床の端から		05	工事用エレベーター、建設用リフト		99	その他				
	11	構梁から		06	二又、三又、切土等		01	融欠				
	12	埋込から		07	ウインチを利用した吊重装置		02	中毒				
	13	型枠、型枠支保工から		99	その他の吊重装置		03	高熱物等による				
	14	塔等から		01	ダンプトラック		04	溺れ				
	15	電柱から		02	その他のトラック		05	なだれ				
	16	クレーン等から		03	コンクリートミキサー車		99	その他				
	17	工事用エレベーター、建設リフトから		04	乗用車							
2. 飛来、落下	18	杭打機等基礎工事用機械から	7. 自動車等の転倒、下敷、接触、衝突等	99	その他	13. その他						
	19	その他の機械設備から		01	ベルトコンベヤ等							
	20	ガケ、斜面から		02	パワテリカー、トロ等							
	21	坑、ピットへ		03	フルードザー等							
	99	その他		04	バックホウ等							
	01	クレーン等		05	統打機、杭拔機等							
	02	用具、荷、取り付け前の部材等		06	ローラー等							
	03	丸太、角材、パネル等の取り付け後のもの		07	モーターグレーダー・スクレーパー等							
	99	その他		08	その他の重荷各種機械							
	01	足場、作業舞台等		99	その他の建設機械							
3. 倒壊	02	型枠支保工等	9. 電気	01	電気工事作業							
	03	建物、橋梁等		99	その他の作業							
	04	コンクリート構型、レンガ等		01	接触							
	05	塔		02	ガス等の爆発							
	06	仮締切り（矢板等）		03	事務所・宿舍等の火災							
	99	その他		99	その他の爆発・火災							

天候コード表（表4）

コード	天	候
01	明	
02	曇り	
03	雨	
04	雪	
05	霜	
06	霧	
07	雹	
08	強風	
09	雷田	
99	その他	

職種コード表（表5）

コード	職	種	コード	職	種
01	特殊作業員		32	軌道工	
02	船舶作業員		33	型枠工	
03	軽作業員		34	大工	
04	知識工		35	佐吉	
05	のり面工		36	配管工	
06	とび工		37	はつり工	
07	石工		38	防水工	
08	ブロック工		39	飯釜工	
09	植工		40	タイル工	
10	築路工		41	サッシ工	
11	鉄骨工		42	屋根ふき工	
12	塗装工		43	内装工	
13	浴槽工		44	ガラス工	
14	通気工（特殊）		45	たばめ工	
15	運搬手（一般）		46	建具工	
16	海かん工		47	ダクト工	
17	海かん世話役		48	保固工	
18	さく岩工		49	建築ブロック工	
19	トンネル特殊工		50	足廻機組工	
20	トンネル作業員		51	現場技術員	
21	トンネル世話役		52	交通警備員	
22	橋梁特殊工		99	その他	
23	橋梁塗装工				
24	橋梁世話役				
25	土木一般世話役				
26	高圧輸員				
27	普通輸員				
28	海水工				
29	海水運搬員				
30	海水送気員				
31	山林砂防工				

傷害部位コード表（表6）

コード	傷害部位名
01	頭
02	顔
03	目
04	耳
05	鼻
06	口
07	喉頭部
08	喉
09	首
10	肩
11	肩甲骨
12	腕
13	上腕
14	ひじ
15	前腕
16	手
17	指
18	腕
19	腰
20	尻
21	下股
22	大腿
23	膝
24	向うすね
25	ふくらはぎ
26	足
27	足の甲
28	足底
29	全身

工 事 打 合 簿

発議者	<input type="checkbox"/> 発注者	<input type="checkbox"/> 請負者	発議年月日	年 月 日	
発議事項	<input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他()				
工事年度及び工事番号	年度 第 号				
工 事 名					
(内容)					
添付図 葉、その他添付図書					
処 理 ・ 回 答	発注者	上記について <input type="checkbox"/> 指示・ <input type="checkbox"/> 承諾・ <input type="checkbox"/> 協議・ <input type="checkbox"/> 通知・ <input type="checkbox"/> 受理 します。 <input type="checkbox"/> その他()			年 月 日
	請負者	上記について <input type="checkbox"/> 了解・ <input type="checkbox"/> 協議・ <input type="checkbox"/> 提出・ <input type="checkbox"/> 報告・ <input type="checkbox"/> 届出 します。 <input type="checkbox"/> その他()			年 月 日

班長(課長)	主任	主 査	監 督 員	現場代理人	主任技術者

材 料 確 認 願

監督員

様

年 月 日

現場代理人 印

工事年度及び工事番号 年度 第 号

工事名

標記工事について、下記の材料確認を実施されたい。

記

材料名	品質規格	単位	搬入数量	確 認 欄				備考
				確認年月日	確認方法	合格数量	確認 印	

以上

監督員	現場代理人	主任技術者

段階確認書

施工予定表

年月日

特記仕様書第〇〇条に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。

工事年度及び工事番号: _____

請負人名称: _____

工事名: _____

現場代理人: _____ (印)

種別	細別	確認時期項目	施工予定時期	記事
				*受理した場合監督員が記事、受理日及びサインをする。

年月日

通知書

下記種別について、段階確認を行う予定であるので通知する。

監督員: _____

確認種別	確認細別	確認時期項目	確認時期予定日	確認実施日等
				*実施した年月日を記入及び特記事項等を実施後記入

年月日

確認書

上記種別について、段階確認を実施し確認した。

監督員名: _____ (印)

監督員

年 月 日

監督員

様

請負人名称
現場代理人



立 会 願

下記のとおり、立会をお願いします。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号
2. 工 事 名
3. 立会項目
4. 立会力所
5. 立会希望、月、日時間
6. その他

年 月 日

監督員

様

請負人名称
現場代理人



現場発生品調書

年 月 日契約の

工事における下記発生品を引渡します。

記

品名	規格	単位	数量	摘要

年 月 日

監督員

様

請負人名称
現場代理人

㊞

工事材料承諾願

下記工事に使用する材料について、別添資料に基づき使用したいので、承諾をお願いします。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 工期 自 年 月 日
至 年 月 日

4. 材料名

1.	7.
2.	8.
3.	9.
4.	10.
5.	11.
6.	12.

使用することを承諾する。

年 月 日

監督員名

㊞

工事日誌

工事日誌(年 月 日から 年 月 日まで 日間)													
工事番号		平成 年度 第 号				工事日数 日間 着工平成 年 月 日 竣工平成 年 月 日			請負人 ④ 主任 技術者 ④				
工事名 工事													
月	日	天候	雨量	水位	出勤状況		作業状況 等記事	指示 又は 事項 確認 指示者 又は確認者 ④	使用主要材料				
					職種	人数			品名	規格	単位	使用材料	日計
	1												
	11												
	21												
	2												
	12												
	22												
	3												
	13												
	23												
	4												
	14												
	24												
	5												
	15												
	25												
	6												
	16												
	26												
	7												
	17												
	27												
	8												
	18												
	28												
	9												
	19												
	29												
	10												
	20												
	30												
	31												

- 一 本表に記載の品種は原則として、「コンクリート」のみとし他は別表とする(但し簡易のものは差し支えない)
- 二 増水により工事施工関係ある現場では簡易な水位測定設備をつくること
- 三 雨量計によらない場合は豪雨、大雨、小雨、雷雨、雷雨の区別を記載して差し支えない

工事中監督員の要求するとき、中間検査前及び工事完了時に提出すること

工事中は現場に常備すること

用紙の大きさは A3 判又は A4 判とすること

工事出来高率(今回) % 工事出来高率(累計) %

都道府県主管部局の長あて

国土交通省総合政策局建設業課長

施工体制台帳の作成等についての改正について

臨時会(第 150 回国会)において、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成 12 年 11 月 27 日法律第 127 号)が制定され、同法に基づき、平成 13 年 4 月 1 日から、公共工事について、施工体制台帳の写しの発注者への提出の義務付け措置等が講じられるとともに、「建設業法施行規則の一部を改正する省令」(平成 13 年 3 月 30 日第 76 号)により、平成 13 年 10 月 1 日から、公共工事に係る施工体制台帳については二次以下の下請契約についても請負代金の額を明示した請負契約書を添付することとされ、施工体制台帳の拡充が図られることとなったところであります。

については、「施工体制台帳の作成等について」(平成 7 年 6 月 20 日付け建設省経建発第 147 号)を別紙のとおり改正することとしたので、貴職におかれては、十分留意の上、事務処理等に当たって遺漏のないよう措置願います。また、貴管内の市区町村等に対しても、併せて周知、指導方お願いします。

建設業者団体の長 あて

国土交通省総合政策局建設業課長

施工体制台帳の作成等についての改正について

臨時会(第150回国会)において、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律第127号)が制定され、同法に基づき、平成13年4月1日から、公共工事について、施工体制台帳の写しの発注者への提出の義務付け措置等が講じられるとともに、「建設業法施行規則の一部を改正する省令」(平成13年3月30日第76号)により、平成13年10月1日から、公共工事に係る施工体制台帳については二次以下の下請契約についても請負代金の額を明示した請負契約書を添付することとされ、施工体制台帳の拡充が図られることとなったところである。

については、「施工体制台帳の作成等について」(平成7年6月20日付け建設省経建発第147号)を別紙のとおり改正したので、貴団体におかれては、十分留意の上、法令の遵守に遺漏なきを期するよう、貴団体傘下会員への周知、指導を徹底されたい。

なお、都道府県等に対しても通知を行ったので念のため申し添える。

国官技第 70 号

国営技第 30 号

平成 13 年 3 月 30 日

各地方整備局企画部長

各地方整備局営繕部長 へ

大臣官房技術調査課長

大臣官房営繕技術管理室長

施工体制台帳に係る書類の提出について

標記について、別紙要領により実施することにしたので通知する。

なお、「施工体制台帳に係る書類の提出について」(平成7年9月25日付け建設省技調発第182号、平成8年7月1日付け建設省営監発第47号)は廃止する。

(別紙)

施工体制台帳に係る書類の提出に関する実施要領

1. 目的

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律及び建設業法に基づく適正な施工体制の確保等を図るため、発注者から直接建設工事を請け負った建設業者は、施工体制台帳を整備すること等により、的確に建設工事の施工体制の把握するとともに、請負者の施工体制について、発注者が必要と認めた事項について提出させ、発注者においても的確に施工体制を把握することを目的とする。

2. 対象工事

工事を施工するために、締結した下請契約の代金の額(当該下請が二以上あるときは、それらの請負代金の総額)が3,000万円(建築一式工事においては4,500万円)以上になる工事。

3. 記載すべき内容

- (1) 建設業法第二十四条の七第一項及び建設業法施行規則第十四条の二に掲げる事項
 - (2) 安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名
 - (3) 監理技術者、主任技術者(下請負を含む)及び元請負の専門技術者(専任している場合のみ)の顔写真
 - (4) 一次下請負人となる警備会社の商号又は名称、現場責任者名、工期
- (注1) 提出様式は、別紙様式を参考とする。
(注2) 施工体制台帳の作成方法等は「施工体制台帳の作成等について」(平成13年3月30日付け国総建第83号)を参考とする。

4. 提出手続き

主任監督員は、受注者に対し、施工体制台帳等を作成後、施工体制台帳に係る書類を、工事着手までに提出させるものとする。また、施工体制に変更が生じる場合は、そのつど、提出させるものとする。

5. 提出根拠

- ・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第13条
- ・土木工事共通仕様書

6. 適用

この要領は、平成13年4月1日以降に発注する工事に適用する。

《 参 考 》

施工体制台帳 様式例-1

年 月 日

施 工 体 制 台 帳

[会社名] _____

[事業所名] _____

建設業の 許 可	許 可 業 種	許 可 番 号		許 可 (更 新) 年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般 第 号	年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般 第 号	年 月 日

工事名称 及 工事内容			
発注者 及び 住 所	〒 _____		
工 期	自 年 月 日	契 約 日	年 月 日
	至 年 月 日		

契 約 當 業 所	区 分	名 称	住 所
	元請契約		
	下請契約		

発注者の 監督員名		権限及び意見 申出方法	
--------------	--	----------------	--

監督員名		権限及び意見 申出方法	
現 場 代 理 人		権限及び意見 申出方法	
監 理 技 術 者 名	専 任 非専任	資 格 内 容	
専 門 技 術 者 名		専 門 技 術 者	
	資 格 内 容		資 格 内 容
	担 当 工 事 内 容		工 事 内 容

- (記入要領) 1. 上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載のある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
2. 監理技術者の配置状況について「専任・非専任」のいづれかに○印を付けること。
3. 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(監理技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)

《 参 考 》

施工体制台帳 様式例-2

《下請負人に関する事項》

会社名				代表者名				
住所 電話番号	〒			(☎ _____)				
工事名称 及 工事内容								
工 期	自	年	月	日	契約日	年	月	日
	至	年	月	日				

建設業の 許 可	施工に必要な許可業種	許 可 番 号	許 可 (更新) 年 月 日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 第 号	年 月 日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 第 号	年 月 日

現場代理人	
権 限 及 び 意見申出方法	
※ 主任技術者名	専 任 非専任
資 格 内 容	

安全衛生責任者名	
安全衛生推進者名	
雇用管理責任者名	
※ 専門技術者名	
資 格 内 容	
担当工事内容	

※ [主任技術者、専門技術者の記入要領]

- 主任技術者の配置状況について [専任・非専任のいずれかに○印を付すこと。]
- 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工の場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は通覧欄を設けて全員を記載する。

3 主任技術者の資格内容(該当するものを選んで記入する)

- 経験年数による場合
 - 1) 大学卒 [指定学科] 3年以上の実務経験
 - 2) 高校卒 [指定学科] 5年以上の実務経験
 - 3) その他
- 資格等による場合
 - 1) 建設業法「技術検定」
 - 2) 建設業法「建築士試験」
 - 3) 技術士法「技術士試験」
 - 4) 電気工事士法「電気工事士試験」
 - 5) 電気事業法「電気主任技術者国家試験等」
 - 6) 消防法「消防設備士試験」
 - 7) 職業能力開発促進法「技能検定」

表 2-2-1

工事実施計画表（建設用）

工事作業所災害防止協議会実施工体系図

工期	年 月 日
----	-------

発注者名	
工事名称	

正 構 造	
副 構 造	
取付機器名	
取付位置	
取付高さ	
取付場所	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

安全衛生管理番号	
種	

会 員	代表者
副 会 長	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

会社名	年月日～年月日
工事内容	
安全衛生担当者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事	
工期	

【注】一、作業所または作業場については、番号又は名称、場所、所在地を、二、作業所とする。

※ 参 考 ※
 施工体組台帳 様式例-4(工事担当技術者)

工事担当技術者台帳

<table border="1"> <tr><td>元請会社名</td></tr> <tr><td>監理技術者名</td></tr> <tr><td>生年月日</td></tr> <tr><td>【写真添付欄】</td></tr> </table>	元請会社名	監理技術者名	生年月日	【写真添付欄】	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生年月日</td></tr> <tr><td>専任・非専任</td></tr> <tr><td>【写真添付欄】</td></tr> </table>	会社名	主任技術者名	生年月日	専任・非専任	【写真添付欄】	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生年月日</td></tr> <tr><td>専任・非専任</td></tr> <tr><td>【写真添付欄】</td></tr> </table>	会社名	主任技術者名	生年月日	専任・非専任	【写真添付欄】	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生年月日</td></tr> <tr><td>専任・非専任</td></tr> <tr><td>【写真添付欄】</td></tr> </table>	会社名	主任技術者名	生年月日	専任・非専任	【写真添付欄】	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生年月日</td></tr> <tr><td>専任・非専任</td></tr> <tr><td>【写真添付欄】</td></tr> </table>	会社名	主任技術者名	生年月日	専任・非専任	【写真添付欄】	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生年月日</td></tr> <tr><td>専任・非専任</td></tr> <tr><td>【写真添付欄】</td></tr> </table>	会社名	主任技術者名	生年月日	専任・非専任	【写真添付欄】	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生年月日</td></tr> <tr><td>専任・非専任</td></tr> <tr><td>【写真添付欄】</td></tr> </table>	会社名	主任技術者名	生年月日	専任・非専任	【写真添付欄】	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生年月日</td></tr> <tr><td>専任・非専任</td></tr> <tr><td>【写真添付欄】</td></tr> </table>	会社名	主任技術者名	生年月日	専任・非専任	【写真添付欄】
元請会社名																																														
監理技術者名																																														
生年月日																																														
【写真添付欄】																																														
会社名																																														
主任技術者名																																														
生年月日																																														
専任・非専任																																														
【写真添付欄】																																														
会社名																																														
主任技術者名																																														
生年月日																																														
専任・非専任																																														
【写真添付欄】																																														
会社名																																														
主任技術者名																																														
生年月日																																														
専任・非専任																																														
【写真添付欄】																																														
会社名																																														
主任技術者名																																														
生年月日																																														
専任・非専任																																														
【写真添付欄】																																														
会社名																																														
主任技術者名																																														
生年月日																																														
専任・非専任																																														
【写真添付欄】																																														
会社名																																														
主任技術者名																																														
生年月日																																														
専任・非専任																																														
【写真添付欄】																																														
会社名																																														
主任技術者名																																														
生年月日																																														
専任・非専任																																														
【写真添付欄】																																														

【注意事項】

- ※ 添付する写真は、
 縦 3cm
 横 2.5cm
 指図の大きとし、
 顔が判別できるものとする。
- ※ 番号は、施工体所属の番号
 とする。

※ 本様式は、2刷作成し、
 1部保管し、1部提出する。
 ただし、カラーコピーもしくは
 デジタリカで写真を印刷し、
 たもの差出しをしい。